(年中無休刊)(日曜日休刊祭日翌日) 大正七年七月四日 THE KEIJO NIPPO (明治三十九年八月十日第三種郵便物認可) 第三千八百七十三號 (一)

京城日報

本紙定價 壹部參錢 壹ヶ月七拾五錢 參ヶ月前金 六ヶ月 壹ヶ年
廣告料金 七號活字一行 …
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯 … 振替京城三〇〇番

七月三日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◎露獨の接近 露國より協商側勢力を驅逐せんとす

某所着電＝獨逸は過激派政府の援助を名として露國內政關渉及び協商側勢力の驅逐を公然實施するに決せるもの〻如く最近新聞をして獨逸政府の援近及び獨逸の積極的援助を洩らさしめつゝあり又露國特派委員は目下伯林にて獨逸側と特別協約を議しつゝあり(東京特電)

◎ミ大公起つ 反過激派軍の先頭に

某所着電＝赤衛軍及び獨逸兵に襲撃せる三十名の露國將校は一將軍の指揮の受け六月十五日夜西伯利カルムに至り偽りて過激派政府の命令書を示しミカエル大公を莫斯科に移す可きを以てし巧に自動車にて大公を誘致し今や同公はオムスクに於て反過激派軍の先頭に立ちつゝありと(東京特電)

◎過激派漸衰 ニ大公露國皇帝宣言說

露國廢帝弑殺說は確實なりとの電報と同じく信ず可きはペトログラードの諸新聞紙がコルニロフ及びカレヂン兩將軍は獨逸と共に莫斯科を占領して過激派政府を顚覆しニコラス大公を以て露國皇帝なりと宣言し同時にレニン及びトロツキー氏はムルマン沿岸に逃走したりと報じつゝある事なり、新形勢は如何にもあれ全露を通じて過激派の權力が日々微弱となりつゝあるは是を以て察知せらる(倫敦電報)

◎露都の神經過敏 日々餓死する者數千に達す

露都は非常なる神經過敏に陷れり赤衛隊は日夜街道を巡邏し市民に發砲しつゝあり西伯利亞新政府はレニンが政權を握れる限り歐露に穀物を輸送するを禁止せる爲日に餓死する者數千人に達せり露軍は今や芬蘭よりバルゴラに亘る戰線を振盪しつゝあり(倫敦電報)

◎浦鹽赤衞軍召集

セミヨノフ兵營のスワノフ氏は市外に逃亡し赤衞軍を召集中なりセミヨノフ軍に對抗す可く浦鹽を發したる過激派軍は浦鹽郊外に還り來りハバロフスクよりも援兵來らんとせるが一日夜一番川方面に砲聲聞えたり(浦鹽電報)

◎兩黨首領の東來 反革命運動の首領となる

アムステルダム來電＝前露國外務大臣立憲民主黨首領ロリュコフ及び十月黨首領グチコフ兩氏は哈爾賓に到着し反革命運動の首腦と爲れり(倫敦電報)

◎匈都大同盟罷業

某所着電＝墺國紛糾に於るザイドレル內閣の危機未だ去らざるに當りブダペスト(匈都)に於ても選擧法改正に關する大規模の同盟罷業起り同地に於る工場の大部は是に參加せり宰相ウェケル氏は目下強硬なる態度を以て是に對しつゝあり(東京特電)

◎新攻擊準備完成 西部戰線に獨軍壓到せんとす

西部戰線に於ける獨軍の新攻擊準備は全く完成し全兵舍より戰鬪力を有する者は全部戰線に送致せられたり獨軍はフランダース地方に其主要攻擊を開始せんとする兆あり(倫敦電報)

◎米國巴奈馬警備

米國陸軍卿は巴奈馬の米國司令官に對し巴奈馬コロン兩市外警備を嚴命せり(華盛頓電報)

◎藤井師團長以下の演習

來奉中の藤井七師團長は齋藤參謀長副官を隨へ柚原第十三旅團長野澤第十四旅團長同各聯隊大隊長を併せたる一行十六名は二日朝七時各旅館を出發し騎馬にて文官屯方面に赴き野外實地演習を行ひたるが尙ほ參謀長も副官を隨へ同地に向へり(奉天特電)

◎賣方に制限

堂島取引所は賣方に制限を與へしより非難の聲あり渡阪中の鈴木農商務書記官も賣方制限の說明は首肯されぬとして委細主務省に報告して其命令を待居れり(大阪特電)

◎棉取引開始

三品取引所は愈々二十五日より棉取引を開始せりと(大阪特電)

◎鮮銀安東支店長更迭

鮮銀安東支店長久我氏今回釜山支店長に轉任し其後任には本店木村久男氏來任す可く多分十八日頃著安事務引繼を了し久我氏は廿日頃赴任の途に就く筈也(安東特電)

◎國勢調査評議員任命

七月一日附左の通り辭令ありたり

總督府司法部長官 國分三亥
內務部長官 宇佐美勝夫
警務總長 古海嚴潮
遞信局長官 持地六三郎
度支部長官 鈴木穆
農商工部長官 小原新三
學務局長 關屋貞三郎
警務官 具然壽
總督府附武官海軍少將 釜屋六郎
總督府事務官 久水三郎
鐵道局長 人見次郎
總務局長 荻田悅造
參事官 大塚常三郎
朝鮮軍參謀長陸軍少將 市川堅太郎
朝鮮國勢調査評議會評議員を命ず
從三位勳一等伯爵 李完用
正四位勳一等子爵 趙重應
朝鮮國勢調査評議會評議員を囑託す

因に同評議會々長は山縣政務總監幹事は工藤國勢調査課長之に當るべし

◎府尹會議(第二日)

府尹會議第二日は三日午前八時より第二會議室に於て內務部長官臨席の下に開會諮問事項の答申あり正午散會せり

◎殖銀の定款

一日の朝鮮殖產銀行設立委員會にて決定せし殖銀定款は委員會より直ちに總督の認可を申請せしが四日の官報を以て發表すべし尙ほ內容は概ね殖產銀行條令に則り居れりと

◎殖銀の張宴

今回朝鮮殖產銀行設立に就き山縣同行設立委員長は來る五日午後七時より在鮮各新聞通信雜誌の代表者を朝鮮ホテルに招待すべく又七日八日も同じく午後七時より同ホテルに於て在鮮實業家の代表者を招待し晩餐會を開く筈にして銀行側よりは各常務委員及關係職員等出席すべく主客合計百二十一名なりと

◎鈴木長官出發

鈴木度支部長官は朝鮮殖產銀行設立用務を帶びて東京大阪へ二週間の豫定を以て出張を命ぜられ午後八時二十分南大門驛發列車にて吉村屬を從へ出發す可し

◎辭令 六月二十九日附

左の通り陞敍の辭令ありたり

陞敍高等官三等
總督府判事 菊地太惣治
同 橫田俊夫
同 水野正之亟
總督府技師 市川豊治
同 八尋生男
同 大久保到
同道事務官 澁谷元良
同 義田義民
同 佐藤重治
同 河野衛
總督府醫院醫官 石川信重
總督府檢事 兩角誠

陞敍高等官四等
總督府事務官 朴容九
總督府技師 岩城信太郎
同稅關事務官 黑部貫一
同判事 岡崎降
同道技師 指宿武吉
同判事 切山篤太郎
同營林廠事務官 澤永彥四郎
同中央試驗所技師 中川虎太郎

◎憲兵分隊長異動

七月一日附を以て朝鮮憲兵分隊長中左の異動ありたり
鎭海分隊長大尉子爵 久松定謨
依願豫備役被仰付 定州分隊長大尉 平田鐵次郎
命義州憲兵隊付 憲兵中尉 門馬隆常
同 上杉貞一
同 野呂匡
同 清武玄
同 牛嶋鼎
命海州憲兵隊付 同 宮崎忠
命咸興憲兵隊付 同
命晉州憲兵隊付 同 佐藤淡二

同道慈惠醫院醫官 田中半二郎
同 富永一二
同道事務官 佐藤榮三
同慈惠醫院醫長 齋藤糸平
京城中學校敎諭 戒能義重

陞敍高等官五等
京城高等普通學校敎諭 玄檍
京城女子高等普通學校敎諭 崔在翊
總督府判事 矢本正平
同檢事 橫田義太郎
同判事 金川廣吉
總督府道技師 佐藤正作
平壤女子高等普通學校敎諭 花井又太郎
同中央試驗所技師 古城浦一
平壤中學校敎諭 鳥飼生駒

陞敍高等官六等
總督府通信技師 熊野惠助

◎コルチャコフ將軍と語る 過激派の暴狀＝反過激派增勢 聯合國の援助＝浦鹽兩軍衝突

日朝刊より續く日記者曰く『露國に於ける過激派及び反過激派の勢力如何』將軍『世人は過激派の勢力が全露國を席捲して居るやうに考へてゐるがそれは大いに間違つてゐる過激派と言つても組織的のものは露都と莫斯科にある位なもので其他の地方の過激派と稱するものには組織も統一もなにもない多くは無智の暴民が無政府狀態に乘じて

◆勝手な國體を作つてゐるに過ぎない反過激派の勢力は漸次增大しつゝあるから將來必ず優勢の地位を占むる事を確信する』と答へ聯合國援助に對しては『獨逸の羈絆を脫し新聞紙の所謂過激派の勢力を一掃するには是非とも聯合國＝主として日本の武裝的援助に依らざる可らず併し乍ら聯合國中の或一國が其任に當る事は聯合國をして

◆露國の領土保全に對して連帶責任を負はしめねばならぬ』記者は更に『聯合國の援助に依つて過激派の勢力を驅逐し了りたる後西伯利亞は如何にする考へなりや』と問へば『それは仲々の難事にて將來の事は茲に明言し難し』と外す此時記者が本紙二日號外を取出し浦鹽に於るチェック軍と過激派軍の衝突の結果チェック軍が

◆勞兵會要塞 司令部占領の報告を示せば隨行員も號外を手に取つて記者の飜譯を求め『チェック軍の勝利!!』と鋭い聲を放つたが斯くして『兩軍の兵數が餘りなかつたにも拘らず米國は陸戰隊を上陸させた……』と互ひに何をか囁き何事か語つて居たが米國の陸戰隊上陸の一語は

◆強く一行の 胸に響いたらしかつた次いで奉天に於ける我陸軍幹部會議ありし事を說明するやコ將軍は鋭い眼を睜らいて『ホヽウ』と何か意味深長の體に考へ込み『愈々日本にも一脈殺氣が漲つて來た』と傍なるセワノフ將軍に耳語するとセワノフ將軍も緊張した面持で肯く記者が『哈爾賓で

◆白井中將と 面會した事』を問へばコ將軍は『白井中將とは公務上語りは居れるが會否如何』や又ホルワット將軍の日本行說を聞したが約十分間位の面會に過ぎないため別段時局に關して語る餘裕がなかつたホルワット將軍の日本行きは事實となるや否やは此處に言明する事を得ず』と口を閉ぢた(終り)

◎陸地棉作況

朝鮮に於ける陸地棉の作況を聞くに昨年は發芽時期旱魃に遇ひたるも本年は晴雨順調なりし爲め發芽は至極良好に經過したるが成育期たる六月下旬に至り雨期に入りたる爲め曇天又は降雨多く日射を受けざるに依り草質軟化徒長する模樣あり且つ病蟲害に侵され易く一般に氣遣ひつゝあるも一旦快晴とならば恐るゝに足らず要するに梅雨期に於て病蟲害に侵されざる限りは昨年より以上の豐作を見るべし尙各道に於ける確實なる作付反別は左の如く昨年より二萬八千八百九十六町步の增加を示せり

道別	本年	昨年
慶南	一九、〇〇〇	一〇、九八三
慶北	一二、〇〇〇	六、〇四七
全南	四三、五〇〇	三九、四五三
全北	七、二三〇	四、二二八
忠南	一、九八〇	八三一
忠北	五、〇〇〇	二、二五六
合計	八八、七〇〇	五九、八〇四

尙京畿、黃海、平南、平北に於ける在來棉の作付反別は二萬八千町步なりと

◎資金集散豫想

七月中に於ける鮮內資金集散概算は收納國稅五千百七十二萬圓諸會社の株金拂込北鮮水產外七社分四十二萬七千五百圓合計四十三萬二千五百圓を示し一月以降の累計は七百九十九萬九千圓となり散布は浦電氣會社の利益配當四千二百圓勸業債券利子九百二十一圓計五百廿一圓にして一月以降の累計は二百四十九萬九千圓なりと而して七月集散は盛夏期とて閑散也(鮮銀調査)

◎鮮銀新支店 天津と濟南

朝鮮銀行にては支那發展の關係上天津並に濟南の兩地に支店新設の必要を感じた爲に…

◎興債賣出し

視察あり中村庶務局長の巡察を見たる結果昨今內部の調査を了し當局に申請中の由にて總督府より命令あり次第直に開設準備に取り出るべく兩地共今春までに開業の豫定なりと

朝鮮銀行にては一日より政府保證興業債券の公募を始め一般の申込みを受けつゝあるが利廻りよき好債券なれど屢次の公債募集にて遊資を吸上げし上に小口の資金は二日より賣出せる勸業債券に奪はるゝ傾きあり應募必ずしも良好ならず三日午までの所本店受付約一萬圓に過ぎざりき

◎勸債好況

十八銀行百三十銀行兩支店にては新勸業債券の賣出しを二日より開始せしが期日前より豫約申込頻々ありて約一千枚を二日中に賣り盡したる模樣也

◎鮮銀總裁出發

美濃部鮮銀總裁は秘書役を隨へ三日午前八時四十分發列車にて出發東上せり

◎片山日銀理事

入京中の片山日本銀行理事は三日午前九時五十分發列車にて平壤視察に向へり同地一泊の後四日折返し五日午前八時四十分南大門發列車にて歸東の筈

◎岩崎男爵動靜

去る六月三十日來鮮の三菱合資會社々長岩崎小彌太男の一行は七月一日兼二浦製鐵所を詳細視察し二日は早朝兼二浦市中を視察し同日午後は殷栗郡銀山面鐵山を視察の筈なり

◎立花師團長歸期

第十九師團長立花中將は平壤八十部隊第二期檢閱視察をなし四日歸任の筈なるも天候惡しき故豫定の如く出來ざる爲め或は遲れて歸任すべし(第二面)

◎白井師團長出發

入京中なりし新第八師團長白井中將は三日朝南大門驛發列車にて內地へ向け出發せり

兵器部長東上 第十九師團兵器部長砲兵少佐中村幸一氏は八日陸軍省に開催せらるべき兵器部長會議列席の爲め四日朝東上すべし

井染中佐出發 入京中なりし參謀本部附井染中佐は三日朝八時四十分發列車にて歸東せり

◎阿部吉田送別會

京城民間實業家等の主なる人々發起となり前本社長阿部充家氏及び前朝鮮郵船專務吉田秀次郎氏の送別會を四日午後六時半より花月に開催會費六圓當日持參出席者は花月へ申込まれたしと

◎各平野浸水 被害は少なし

最近の豪雨にて平野の浸水を受けしは平安北道泰川平野郡の氾濫による忠南論山平野榮山江の氾濫に基づく同江流域にして多少稻作の被害は免れ難からんも豪雨連日に亘るものにあらざるに付減水も速かなる模樣なれば憂ふべき狀態にあらざる如しと是立東拓殖產課長は語れり

◎電線の障碍

▲鮮內不通線 鮮內不通線は二日概ね復舊せしも尙ほ京城光州線京城木浦線の兩線復舊せず全南豪雨の甚大を語り居れり但し三日中には復舊の見込みなり

▲浦鹽線不通 京城浦鹽線は過般來不通となり居り目下內地經由にて朝鮮と浦鹽間の電信は浦鹽長崎間海底電信線によりつゝあり

▲京城の劇忙 大連佐世保間の海底線不通の結果京城郵便局の電信發著は一日約二萬四五千通に激增し電信係の勞苦甚しき爲め數日前關東都督府管內より五名の應援來り內地よりも兩三日中に六七名の應援ある由

▲海底線復舊期 不通となれる佐世保大連間の海底線は北に距る佐世保大連間の海底電信線は目下修理船を派遣する事となり居れるも昨今海上の風波荒きため其の復舊までには少くも今後二週間位を要すべく內鮮間電信の大延遲は當分止むを得ざるべしとの事なり

◎善後策打合 結局解合ふべし

米豆取引所當市兩限の立會停止に就ては其後仲買組合に於て集會を開き之が善後策に就て打ち合せする處あり去る一日午後五時より取引所樓上に於て種々協議を重ねたる結果仲裁委員として內海、重、淺、柴野、今村の五氏を選み局外者として更に三名の委員を選び依賴し以て賣買雙方に對し値段の協定を爲したる上相當の

▲交換を開始 するの運びに至るべしと因に仲取引所支配人は本府商工課よりの招電に接し二日午前出京せるを以て何等か其筋の意嚮を齎す處あるべしと期待さる之に就き後仲買組合委員長は語つて曰く『今回の停止は結局解合に終るべく豫想せられ其取組石數の多量なると客の多人數なる等よりして容易に協定の交渉纏まらざるべく

▲頗る複雜 なる問題とせられ居れり組合にては之が善後策として圓滿解決を計らんが爲め五名の仲裁委員を設け更らに局外者三名の委員に依託して事件の解決を計らんと勉めつゝあるを以て早晩解決を見るべし尤も支配人の出京要件に依り其筋の內容の如何に依つて果して其筋よりの解合命令等に接するが如き事あらば其の

▲比較的迅速 たるべきも解決は已を得ず然らざる場合に於ては尙は多少の時日を要するものとせざるべからず(仁川)

◎鑛業登錄 (自六月二十日至同二十四日)

▲鑛業權設定
鐵鑛 慶尙北道慶山郡南山面 二十三萬五千二百坪 片村庄次郎
水鉛鑛 同慶州郡內東面 七十萬七坪 李鍾璠
黑鉛 平安北道龍川郡北中面 十三萬七千九百坪 松本武吉
鐵鑛 京畿道坡州郡炭縣面衛洞面 八十五萬九千二百二十六坪 菊田良卓 中山岩藏 新濱淸男
同 同衛洞面 六十九萬四千七百三十四坪 同
金鑛 全羅南道麗水郡召羅面 八十八萬四千五百八十八坪 近澤雅
鐵鑛 慶尙南道河東郡靑岩面郡矢川面 中淸
金鑛 黃海道海州郡檢丹面信川郡南部面 七十六萬七千六百七十六坪 朴在永 朴順均
砂金 同長淵郡薪澤面 九十一萬八千二百五十五坪 姜俊植
石綿 江原道金化郡金化面 八萬千四十六坪 元致鉉
黑鉛 咸鏡北道城津郡臨城面 十九萬二十坪 金子津介
金銀鑛 京畿道龍仁郡遠三面 二十八萬四千八百四十七坪 山下幸太郎 澤井元善
金鑛 六十四萬四千二百九十四坪 井上讓
金鑛 慶尙南道居昌郡渭川面 四十一萬二千三百九十五坪 宋秉直
水鉛鑛 同山淸郡三嘉面 三十九萬八千九百八坪 李致安
砂金 平安北道慈城郡閭延面 九萬六千二百五十四坪 金永河
鐵鑛 黃海道海州郡月峰面 九十六萬坪 岩田遊細四郎 廣澤正次郎
銅鑛 江原道三陟郡蘆谷面近德面 五十六萬九千九百七十二坪 中村十四郎 山薫四郎
金鑛 同麟蹄郡南面 五十七萬三千四百十坪 崔臨誠
金銀鉛鑛 京畿道長湍郡小南面 七十七萬八千三百五十八坪 金鍾璐
金鑛 忠淸南道洪城郡長谷面洪東面 四十一萬三千六百三十坪 朴理璂
同 全羅北道淳昌郡東溪面 六十萬千二十三坪 鄭熙源
黑鉛 平安北道朔州郡兩山面 二十四萬四千三百八十三坪 德弘千代彥
金銀鑛 全羅南道麗水郡南面 十五萬六千九百七十五坪 小久保六兵衛

▲鑛業權移轉
忠淸北道永同郡龍化面上村面 賀田金三郎
同楊江面龍化面 同
平安南道陽德郡下龍面川面 臨炳善
同下龍面 同
同洛川面 朴弼逵

▲鑛業權消滅
全羅南道順天郡松光面外西面 取消
慶尙北道醴泉郡甘泉面龍門面 同

◎道修路工夫規程

京畿道にては今回大正元年八月總督府京畿道訓令京畿道道路修繕工夫定人夫心得を廢止すると同時に新に道訓令を以て京畿道修路工夫規程を定め客月二十八日附發布道及び管內府郡面に對し即日施行せるが右は道及び管內府郡內に於ける一等二等及び三等道路保全の爲め道路修路工夫を設置することゝなせるに關し其の服務義務及び貸與品等に就て十七箇條の規程をなせるものなりと

◎全北道麥作良況

全北道に於ける今年の麥作は順調に經過し今や大麥は收穫を終り小麥も既に約五割以上の收納を了し茲數日を出でずして全く收納完結し市場にも現出するに至る可きが當局者の豫想高よりは數割以上の增收を示し近年稀に見るの大豐作を告ぐるに至りたり而して相場は豐作の聲にて多少の低落は免れざる可きも大勢に於て高唱へなりと

◎鮮鐵會計檢査了

朝鮮鐵道會計檢査中なりし今泉會計檢査官は京釜改良工事實地檢査を終へたるが之を以て今回の檢査は全部終了せりと

◎雨水道計量施設

京畿水道課に於ては明年度より京城仁川兩水道に全部計量水道施設を實行すべく目下調査中なるが豫算は二十五萬圓を要すべし

◎京畿繭販賣狀況

京畿道管內に於ける春蠶繭共同販賣第二日の狀況を聞くに漣川郡にては六月三十日同郡公立普通學校に於て第一回共同販賣を施行せるが販賣豫定量三百五十石に對し販賣見積約四百五十石入札者多數にて取引盛況を呈せり尙同日京畿道よりは松永道長官今村事務官田中技手等出張せるが其の取引販賣價格左の如し

	又賣(石當)	交配(石當)
特等	一一三、〇〇	九八、八〇
一等	一〇一、〇〇	九四、七〇
二等	九七、一〇	八五、三〇
三等	九四、七〇	七九、〇〇
四等	八〇、二三	六五、五〇
等外	六八、一〇	

因に管內共同販賣は多少其の時日を變更せり尙本月二日は驪州郡、三日は廣州郡、四日は利川及金浦郡に於て午後一時頃より施行する筈なり

◎大田

▲道路起工 大田中學校學校組合事務所前より大田中學校に通ずる俗に中學校道路と稱する延長四百七十間巾五間の道路敷地は各所有主に夫々寄附勸誘中なりしが全部の承諾を得たるを以て不日工事に着手したるを以て不日落成を見るに到るべしと

▲商校舍移轉 大田尋常高等小學校術校舍敷地の一部を遂に大田郵便局敷地として賣却したるを以て急に二校舍全部の移轉を斷行するの必要迫りたる爲め來る二十一日以後四十日間の暑中休暇を利用して移轉工事をなす事に決定し大工、石工、左官等各別々に請負をなさしめたるが工費は約七千圓なりと

▲春繭取引終了 大田郡內に於ける本年春蠶の收繭高は約四百石內外にして內郡の共同販賣に附せられたるものは僅々百十八石にして他は凡て個人の賣買にかゝりたるものなるが共同販賣の最高價は一斗十圓三十二錢にして平均七圓八十二錢なりと

□北海道より(十四) 天民生

アイヌ語にて夫のことを『エン』『エンロゲタアコテグル』又は『エンロクル』とも言ひ、支配する人又は上座に坐る人の意なりと云ふ。又妻のことを『クグロシネンテ』又は『エンウサラゲタアングル』と言ひ、足の運ぶ者又は下座に坐る者の意なる由面白しと思ひたり。朝鮮語と日本語と同じきものあると同じく、アイヌ語にも日本語と同じきもの多しと。何れが起源なるや不明なるも、今其の面白しと思ひたるものを擧ぐれば、馬をウマ、神をカムイ、色をイロ、箸をハスイ、手をテ、牛をベコ(東北にては牛をベコと云ふ)等をカサ、刈るをカル、父をヤイト、味をアマなど言ふと聞けり。

◎各府尹宿所

府尹會議の爲入京中の各府尹宿舍左の如し▲仁川稻野俊武(巴城館)▲群山天野喜之助(浦尾)▲木浦松本雅太郎(山本)▲大邱中野多三郎(不知火)▲馬山三原久米吉(巴城館)▲釜山若松兎三郎(朝鮮ホテル)▲平壤本田常吉(京城ホテル)▲鎭南浦保川消次郎(浦尾)▲新義州吉原留吉(不知火)▲元山村地卓爾(浦尾)▲淸津吉田格之進(不知火)

人事消息

▲齋藤貞次郎大佐(全州憲兵隊長) 三日朝出發赴任
▲福山謙治氏(東京建物會社取締役) 三日朝入京同日午後九時四十分發列車にて奉天に向ふ豫定
▲阿部充家氏▲小幡虎太郎氏▲牧山耕藏氏 三日正午下仁川歸京の筈
▲高瀨東拓理事 二日午後九時安東通過奉天へ向へり
▲今泉茂松氏(鐵道局技師) 委託鐵道線路視察の爲め京義線に出張中の處二日歸任せり
▲岡野久龍氏(東京高千穗高商校長) 二日夜入京巴城館へ
▲鳥益吉氏(松昌洋行天津支店長) 二日天津へ
▲久松憲兵大尉(子爵) 二日發義州へ
▲關係榮氏(駐日支那陸軍學生監督) 一行三名二日奉天より入京朝鮮ホテルへ
▲カーチス氏(京城米國副領事) 二日午後東上
▲井上忠南二部長 三日朝退城

茶前酒後

◎虎狼似露天可憐入獨軍を後楯とし莫斯科を占領し大公を皇帝と宣言
◎支那の復辟は頭から失敗せるも露の張勳の活動は物になるか不知
◎過激派反過激派復辟派と卍巴の露國黨し復辟は獨逸の仕事と知れ
◎一方見來纏大公を奉じし反過激派ありと果して反過激派か疑はし
◎獨逸は愈々最初よりの目的通り露皇帝復辟を急行する考なる可し
◎若し反過激派の仕事とせば露の內亂も色彩漸次變じ來り皇位の爭か
◎之をして異ならしめば右を見て左を見ても權勢爭は時節柄鬱陶し
◎近來對支借款頻々英京に現れ頻繁也至極結構
◎四國の密偵を切拔けたる腕前は彼の十八番なり演說すず物丈に面白き筈
◎下らぬ方面に氣兼氣苦勞其度を過して結局虻蜂取らずに終るは愚
◎失脚以來快々たる靑島の恭親王お手許不如意にて窃に家物を賣放
◎悲觀せず共風の吹き廻しが妙になれり運命は寢て待つに不如ざる也
◎近時淡路島沈下すと勿憂少々沈沒すも日本は年々大ならんとす
◎淡路の半分位沈下させても南北に大くなる方が國益也如何でムる
◎京都市長を京大教授に物色して恐く成らず夫米國に倣ふものか
◎然るに京大に一人の總長無は惜むべし總大統領ならば希望多々乎
◎北鮮の選擧に當政黨勝つ前長官の戸別訪問幹部の女郞買廻りは恐入
◎勝利は其努力の賜と當選者は大喜なるも應援運動汗を拭つゝ吐息
◎心中の先生あり夫婦中離同死の先生あり果は親殺しの校長現はる
◎內地敎育界殊に小學校先生連に兇事續出大事の兒童敎育上大問題

大正七年七月一日改正現行

悪辣な誘惑の穽(上)

巧妙な詐欺賭博が殖ゑた

蛙を覗ふ蛇の様に呑まねばおかぬ

近來京城を中心として各地方の鮮人間に詐欺手段の賭博を以て富豪より大金を捲き上げたり奸智に長けたる浮浪の徒が巧に貴族や富豪の子弟を籠絡し花柳の巷に誘惑して金錢を浪費させ果ては之を教唆して親の財産を詐取横領させるなど云ふ不敵の曲者が著るしく殖ゑて來た是に就て京城地方法院の

◆某檢事は談る

詐欺賭博といふのは昔から朝鮮に流行してゐたが近來は其手段がなかなか巧妙になつて來た、只今行はれて居る方法として先づ資産家の椋鳥を物色することである、此の資産家が博徒から目を附けられた時は恰度蛇から覗はれた蛙のやうなものでお終ひには呑まずには置かぬ何しろ博徒仲間には極めて

◆秘密な聯絡が

結ばれて居り談話や手紙などにも一味の者で無いと判らない暗號や符牒を以て用を辨じて居る程で此の網の目に引つ懸つた財産家は全く生皮を引剥かれるやうな酷い目に逢ふのだ、近頃は此の詐欺賭博の事件が非常に多く、檢擧された被告等の惡辣な而して

◆陰險な人物の

多いには驚く、彼等の内先づ或る者が好い椋鳥に接近して巧言令色以て恭しく祭上げ何卒心易くと言つた風に徐々奥の手を出して籠絡に取り寛ろぐと今度は又一味の中の或る者がこれに初見参して同様の手段に及ぶ斯うして共謀者同志が椋鳥の面前で出會つた際は互に

◆初對面の挨拶

をする夫が加之住所氏名職業など悉く嘘づくめで皆相當の商賈でも行つてゐるやうに装うて居る、斯うして日を經るに從つて互ひに昵懇になつた末或る一人が倒になつて甥の千圓束などを携へて行くと他の者は千圓束の主をさも大資産家のやうに崇め上げ例の椋鳥に對して其の人と賭博を開くやうに勸め一味は共謀して詐欺手段を施し椋鳥の所持金を悉く捲き上げて分配する、此の際金の持合はせがなければ負けた丈けの額を

◆普通の貸借金

として一札を入れさせるか脅迫して現金を調達させるのだ、京城には殊に斯様な不敵者が幾組となく網を張つて驛や劇場旅館貸座敷等の群衆出入の場所に待ち構へて居る、是等の手配に引掛つて數萬圓も捲上られた資産家が幾らもある

□青森へ向はる 皇太子殿下

直江津沖に御假泊あらせられたる東宮殿下には御豫定の如く二日朝御發艦青森に向はれたるが四日大湊要港部に御到着の筈(東京特電)

晋州の水害

晋州方面にては霖雨未だ歇まず南江の増水十六尺に及び交通杜絶せるが農作物は幸ひに被害僅き模様なり(晋州特電)

前露帝暗殺確實

露國外交委員長チチエリン氏より目下廢公の居住せる獨逸ダルムスタット宮廷に發したる電報に據ればエカテリンブルグとペルム間にて露國前帝の暗殺されたるは確實なりと(倫敦電報)

一千の鮮人に飛檄

増給交渉の言葉の行違ひから

小倉製鋼の内鮮人夫大亂鬪

小倉市西海岸小倉製鋼所鋼片係朝鮮人夫は日給の分増一分二厘を不服とし三十日午後五時の交代時間に於て人夫小頭近村茂左衛門に向ひ四厘方の値上を要求したる結果双方言葉の行違より朝鮮人は茂左衛門を毆打せしかば之を知れる日本人職工は憤然として集合し朝鮮人夫亦全部集合し約百名の日鮮人格闘を演じ朝鮮人松本一郎事朴乃先(二三)は頭部に深さ骨膜に達する創傷を負ひ同梅原一郎事李敬夫(三五)は足部に負傷せし報に接し小倉署多田警部補、奥永部長等出張したるが朝鮮人は關門若松の朝鮮人一千餘名に檄を飛ばし復讐戰を爲すべく既に百餘名集合し畫中なりしより大活動を開始し說諭を加へ慰撫し鎮定するを得たり尚日本人の加害者二名は小倉署に召喚取調を受けたり

◆漢江の増水 (三日朝撮影)

保險金訴訟事件

契約者の敗訴

京城旭町一丁目小倉恒松は永井辯護士を訴訟代理人として東京日本橋區に本社を有する

▼帝國生命 保險會社朝鮮支店の代表支配人なる黄金町一丁目の秋元照豊氏を相手取り保險金五百圓の請求訴訟を去る五月八日京城地方法院に提起したり原告の請求要旨に依れば原告は本年一月十三日前記帝國生命支店の勸誘員福地興三の勸めに依り二女ことを保險に加入せしむること、なし會社より派遣の醫師に身體の診斷を受け何等の故障もなく

▼契約を濟 ませて第一回の拂込金八圓五十一錢を支拂ひ爾地よりは十日以内に保險契約證書を交附すべしと稱し其儘にて經過し居る内契約者なることは一月三十日突然發病翌日總督府醫院にて診斷を受けしに急性腎臟炎と判明越て二月一日遂に病死せし依つて原告は會社の請求に基づき本籍地より戸籍謄本迄も取寄て二月七日保險金を請求せしに結局二百五十圓の

▼弔慰金を 交付するに依り保險契約を解除し呉れと申込まれたるも既に契約成立したるものなるを以て全額五百圓の請求をなしたるに會社が應ぜざるより遂に訴訟を起したるものなりと主張し一方會社にては中村辯護士を代理人として應訴し原告の請求を棄却するやうに判決を求めて互に係爭しゐたりしが裁判所にては前記の契約が成立し居るや否やに就き審理する所ありしが結局契約人ことが

▼死亡前迄 に會社よりの契約書が到着し居らざるを以て此契約は成立し居らざるものと認められて此程原告の請求は理由なきものとして敗訴の判決となれり、原告は之れを不服として京城覆審法院に控訴して目下審理中也

賊に祟られし三菱製鐵所員

◆重役及び社員の金品◆

七月一日の白晝午後一時頃三菱製鐵所社宅伊藤仁三郎方へ賊忍び入り金側腕時計一個及び金側懷中時計一個此の價格百二十圓のものを窃取したるが二日午前三時頃同製鐵所迎賓館に賊忍び入り岩崎男爵に隨行して來れる三菱重役三宅川氏の金側懷中時計一個及び現金五十餘圓を窃取したり([illegible])

金滿家の息子と名乗つて料理屋を荒す

去る五月初めより安東縣南地巫王花房方に寄食し玉川樓愛子の許に通ひ居たる者あり神崎健太郎と云ひ自分は東京某醫師の息子にて放蕩の結果一時勘當を受け居れるも金錢には不自由する事無しなど、大法螺を吹き安東銀行の預金帳に三千三百圓と記入せるを同樓主人に預け豪遊を極め寄み果ては同樓の衣類多數を誤魔化し入質し猶も金滿家の息子の如く振舞ひ愛子身請の相談を進めつつありしが遂に其の化の皮現はれ一日夜檢擧されたり目下取調中なるが他に多數の連類者ある可き見込也(安東縣)

下級船員に支那人を

朝郵で傭入れた

下級船員は近時從ふ不足を告げ船會社では一般に困り拔いてゐるが朝郵では此窮策として新たに支那船員を傭入る事となり七月一日入港の江原丸で三十九名の支那船員を連れて來た之等の下級船員はまだ何れの方面に配置するかは決定してゐないが近く引揚げられて南浦大連間に就航すべき宗信丸に其幾分を配置し其他は釜山或ひは木浦等各方面に向けて使用する事となるだらうこの事支那船員の傭聘は朝郵では初めての試みであるが其成績は果して何うか

◎貨車衝突 一日朝山陽線笠岡驛にて貨物列車衝突の椿事ありし二日朝に至り開通せり(大阪特電)

鳴つたく櫓大鼓が

漸く開場した東京大相撲

一層の人氣に凄じい程の賑ひ 力の籠つた千葉と大潮の申合

しつこく降りついた雨が四日振で漸く歇がつた三日目の朝も少し怪しい空模様であつたが、早朝から鳴り渡る櫓大鼓の景氣のいゝ音に雨雲を壓さへつけたものか正午過ぎまでは大した降りもなく開場と同時に客足が滋かつたのは三日間の休みにムヅムヅしてゐた人氣が一時に湧いて來たものか兎に角凄じい程の勢ひであつた、力士連中も三日間の休場に何れも

▽脾肉の嘆 を發してゐたこと、て早くから場所入りをして盛んに打突かり合つてゐた國なども早くから來た方で源氏山、浦ノ三杉磯、大潮などと春に申合ひをしたり胸を出してゐたがそれから一巨り濟んで千葉ケ崎が姿を見せると鶴の海、小常陸、能代潟等が飛んで行つて二三番づゝ打突かつたあとへ大潮が出て申合ふ、關以下の諸家が土俵のグルリを

▽取卷いて 見物する中で兩力士は約五十分餘りの時間を費して十三番續けさまに申し合つたが双方とも徹頭徹尾目差しの相四ッで唯だ大潮が上背があつて手が長いので直ぐに千葉の褌を取つてしまふだけ歩があつた、勝敗は一勝一敗で最初の五六番は大潮が勝越したがあとの五六番は千葉の成績よく續けざまに力の籠つた角力を見せたので

▽稽古見物 は大歡迎で見物といへば稽古見物に最も熱心なのは白土貞一氏で疊業家の樋口氏など一緒に正面棧敷に陣取りて揃へて觀てゐたのは好角家としての資格が十分であつた

紙上寶探し(四)

凸君仕方がないから下に飛下りたが見物客のフレーフレーの聲に猶更たまり兼てゐる彼のおぢさんは一生懸命夢中になつて眼を洗らしてゐる、こいつ甘いと今度はおぢさんの背に飛乘りしたが幸ひ夢中のおぢさんは一寸も知ずにゐる

マツエフスカヤからの歸客の談に依れば一般露人は同地に於いて教練しつゝある某國軍人を見て日本軍とばかり思ひ込み涙に咽ながら感謝してゐる相だ▲セミヨノフ軍總司令部の情報によれば過激派軍の獨墺兵及び赤衛軍は日本軍到着せりとの風說を聞き先を爭うて退却しつゝあるとの事である

實科教員講習會 (一日から工業傳習所で開會中)

婦人と小供

◇朝鮮婦人は度胸が好い

中村高普教諭談

□南鮮各地を巡廻しまして私は普通學校教育が長足の進歩をなして居るのには驚きました、或る地方では小學校の兒童よりも普通學校の兒童の方が理解力も進んで居ると迄賞さへ認めて參りましたつけては朝鮮の婦人が如何に變化し來り居るかも知りたいと思つて一日女子高等普通學校を訪れまして折柄校長は觀察のため内地を巡視しておられて御不在であつたゝめ主席教諭の中村一衛氏がお逢ひ下すつて次のやうなお話を聞かして頂きました

□何にしても彼等が斯うした大發達をその教育に依つて受ける事は大變喜ぶべきだと思つて居ります、普通學校令が布かれて男子の方では競つて入學するやうになり年齢の差もだんだん減少して來るやうですが女子の方はさうばかりも參りませんので本校で入學年齢を十二歳以上としてありますが現に最年長者は二十六歳が居ります

□彼等は古來の風習として男子に接近しないと云ふので途中で私達教員に逢つても知らぬ顔をして居ります、電車の中で膝を交へて坐つてゐても決して言葉など交さないこといふ風で尚ほ學校の庭園に植ゑてある果樹が實ると、いくら止めても何故かならず(あながちに食ふためでなく)もぎ取つて仕舞ふやうな風習がありましたが、今年あたりは全くそれがなくなりました事は私達も非常に喜んで居ります

□けれども一般の朝鮮婦人は事に處して動ぜず臆せずで、なかなか度胸が好いのであります、いざと云ふ場合決して臆しません、ましても發習の時にはちつとも出來ないから心配して居りますと、彼等は「先生そんなに心配せられないでもきつとやります」と云ふさうです、果して當日になると如何なる人の前でも立派にやつてのけます

□先年原某氏が朝鮮土産といふ書物に、これらは恥を知らないからだらうと評せられてありましたが、私達はあながちそればかりでは彼等の「きつと出來ます」と云ふ語は出ないだらうと思ひます

□斯うして彼等が教育を受け新しい智識を得て惡習たる早婚の弊もだんだん無くなつて行く事、内地婦人と同化して來る事は嬉しい事であります。

金剛山に郵便分室

—長安寺に本年中に—

大正七年七月五日より左記の郵便局分室を設置し電信事務及び電話通話事務に限り之を取扱ふ事と爲り四日の官報を以て告示する筈也
▲准陽郵便局長安寺分室(江原道准陽郡長安寺内)
▲准陽郵便局末輝里分室(同道同郡末輝里)

斧持つて脱獄

京都監獄服役中の強盗殺人七犯の[illegible](三七)は一日夕構外にて農事に從ひ勞働中手斧を携へたる儘逃走せり(京都電報)

運動界

明大對滿鐵 勝敗尚決せず

明治大學對滿鐵倶樂部野球試合は二日午後四時より開始したるが各三點にて夜に入りたるを以て遂に試合を中止したり(大連特電)

▲早大庭球團 早稻田大學庭球團は二日哈爾賓丸にて來連四日より試合の筈也(大連特電)

商況

東京期米特電

三日前場 一信 二信 三信 二十四圓五十錢

兵庫期米特電

三日前場 一信 二信 三信 二十四圓七十錢

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

◎綿糸布小安し ◎米棉 ◎現物は半 ◎二十六手二百四十二圓 ◎三綿布 三十錢安し

◎正米引締る ◎二錢方高 ◎氣配一二 ◎軟材少 ◎急に軟化 ◎望み難き形勢

◎當中解合交渉

◎粟上物弗々 ◎五十錢の出來 十一圓四 ◎茶益々高模様 ◎明太魚産地高 ◎四十六七圓より高 ◎元山相場にて五十圓 ◎麻豆袱物安 ◎河上物 ◎黄海道物 四五十錢 ◎大豆不引立ち ◎小豆も持合ひ 十四圓六十錢 ◎滿洲赤は花 ◎小豆に比し四五十錢高 ◎鹽鯖好賣行 ◎元山の六錢二三厘 ◎昆布は鈍状 ◎漬物類の近況

下關相場

各地商況

◎大邱(二日の米況)

仁川正米

釜山市場

生魚市場

◎京城日丸市場

仁川期米

三日前場 (小堅し)

三錢高に寄付き二十九錢と暴騰

齋藤榮之助

◎大阪天候晴 天昨止より五錢安の十六錢七錢と跳

市場雜觀

◎當中の停止問題 如何に展開するか 眼前の大問題 ◎受け強硬の成行 大阪の反撥高

◎仲買店

◎合へ勸誘事に一 當中限の一解決 ◎利喰に賣物現れ 高値は又新規に ◎反對に暴騰に至り人氣一變 ◎丈大に市場の注目 ◎猛烈な買物に惹き

仁川米豆取引所

三日の九月限

北濱たより

白米小賣値 白米標準値 青物小賣値

大阪期米 三日後場米 前場中停止 先限二十四圓十四錢 三日の九月限

文藝課題及び募集規定

天候 小雨

英國領事共々 軍艦で賊船の調査に著手す 宣教師殺害事件

英國宣教師浙江沖にて海賊の爲に殺害されし事件は目下支那政府と英國との間に問題となり居れるが茲に其の詳報を聞くに英國宣教師グラバン氏は常に福建の福寧に駐在するものなるが四月十五日敦會のハウスボートにて霞浦縣三沙沖を通過するの際約百五十名を乘せたる四艘の海賊船出現しグラバン氏は從僕支那人一名と共に慘殺せられ海中に投棄されて其の屍行方不明となり携帶品は全部掠奪されたり福州の英領事より福建省長に對し賊船の捕縛を要求したるも支那官憲にては一艘の砲艦に二名の巡警を乘せ現場調査に赴きたるのみにして何等要領を得ず其の後英國領事より再三交渉したるも一向何等の處置を取らざるため英領事より遂に北京英國公使に請ひ英國軍艦を呼寄せ海賊を搜査せんこことを以て其の結果英國砲艦カリン號は香港より福州に入り寧波に向ひ寧波にて英領事を乘せ浙江海面の搜査に著手せり然るに支那政府にては英國の不開港地に入港するに對し抗議を提出すると共に一面支那側よりも軍艦を派して海賊搜査に著手することゝなれり即ち厦門に於ける砲艦江亨外一隻は厦門出發三沙附近に廻航したるが右海賊船は浙江寧州より來れるものゝ如く其後屢々支那民船を襲擊したることあり同船は尚ほ三沙附近に出沒しつゝあることにて早晩捕獲さるべしと(北京)

自衛と募兵 ―滿洲里にて

滿洲里の有志家某氏は同地域自衛の必要上滿洲各地に亘り壯丁募集中なりしが安東縣にては應募者二十餘名ありしも或る事情の爲め十四名は募入を見合せ六名丈應募し哈爾賓に向け出發せしめたるが尚引續き募集をなすべしと(安東縣)

大雨…被害 慶尚北道

慶尚北道管內にては各地方共廿日朝來引續き相當の降雨を見つゝある模樣にて各方面よりの被害報告頻々として慶北道務部に達しつゝあるが一日正午迄に達したる被害報告は左の如し(大邱)

◆奉化郡(一日午前六時三十分) 三十日來の豪雨にて邑內の增水六尺に達し尙漸次增水しつゝあり爲めに各方面との交通杜絕せり被害程度は目下調査中なるも人畜の死傷は無き見込なり

◆醴泉郡(一日午前二時) 川の增水約八尺に達し降雨今尙歇まず醴泉邑內の浸水家屋約二戶倒壞家屋十戶に及びたり

◆英陽郡(一日午前五時三十分) 三十日朝來の豪雨にて邑內を貫流せる川增水約十尺、京釜間一等道路は一日午前三時より交通杜絕す邑內の南方にある間慶橋、耶耶橋は孰れも危險の狀態にあるを以て消防夫を督勵して警戒中、間慶附近浸水家屋三戶流失家屋二戶

◆邱浦輕鐵線路被害狀況

◆義城郡(一日前十時四十五分) 遂川增水一丈二尺に達し各所との交通杜絕し青松への郵便物遞送不能となれり

◆義慶郡(一日前十一時十分) 豪雨尙歇まず今朝十時の雨量百三十粍にして桃李、花峴、丹村の諸川增水四尺爲めに交通杜絕し自動車の運轉を中止せし爲郵便物の遞送不能となりたり但し人畜の被害は無き見込

三十日來の豪雨の爲め大邱浦項間輕鐵線路中清泉驛を距る東方約一哩五十鎖の地點に於て埋立砂地約三間陷落したるも直ちに應急修理を施したり

忠淸南道

◆出來た許りの堤防決潰 去る三十日夜來の豪雨の爲め大田郡儒城溫泉場より同市場に亘る堤防約三百間決潰流失し其他大田儒城間の道路も決潰流失の箇所尠からず交通不能となりたるを以て金大田郡守は二日午前實地視察の爲め同地に赴けり儒城の堤防は最近忠淸南道より三千五百餘圓の補助を得て夫役を以て橋梁と共に改修し先月落成したるのみなるが損害取調中(大田)

淸會線架橋工事

淸會線輸城川の橋梁は從來假橋なりしが過般橋梁鐵桁の到著せしを以て六月上旬より架設に著手せしが六月中には竣功の豫定なりし而して昨年は降雨少く爲に出水なかりしより假橋梁にても交通杜絕する如き事なかりしも本年は洛來降雨多く出水を憂慮さるゝより假橋にては頗る不安なりしが鐵橋の架設せられしより斯る憂ひは之れなかるべしと(淸津)

奉天日支人教育

奉天南滿醫學堂に於ては來る七日第四回卒業證書授與式を其の講堂に於て擧行せらるべし而して本年の卒業生は內地人二十一名支那人十一名合計三十二名にして既に沿線各地及び滿鐵病院等より招聘の申込多數ありと(奉天)

四平街近信

四平街素人寫眞品評會を藤井寫眞館內に開催出品總數百二點なりしが當日の題は『綠葉』と『運動』にして

綠 一等國米(以下二等より七等まで)經、小栗、同上、陳、中田、渡野

薬運動 一等山中(以下三等まで)山中 國米

雜題 甲一等大西(以下五等まで)山中、和田、渡邊、井上(以下乙一等より三等まで)浦田、小栗、經

第五回の出題は『子供及び影』第六回雲及び納涼なり▲田中四平街地方事務所主任は襲に長女を亡ひ次女亦病を以て奉天病院に入院せるが四鄭局の立石保福氏の令息も病氣中の處死去し近時幼兒の病氣に罹るもの多きは大いに注意すべきことなり(四平街)

御眞影奉安

今年四月新設の大連中學校に下賜せらるべき聖上皇后兩陛下御眞影は六月廿九日泰南丸にて御著一先づ旅順に奉遷し都督府民政部に奉安の上更に日を選びて大連中學校に下賜の事となりたり(大連)

露國義勇艦

露國義勇艦隊マグネット號は若松港より多量の石炭を積載し一日釜山浦に入港せり(平壤)

輕鐵の延長

◆平壤价川の三菱鐵山◆

平南价川郡軍隅里三菱鐵山に於ては今回更に採鑛區を擴張し同鑛區內たる泉洞鐵山に採鑛すべく既に著手せしが之が爲め輕鐵部に於ては更に線路の延長をなし殆んど完成に近きが其新線路は目下の价川三浦里驛より約三哩にして泉洞鐵山に達すべく其中間驛として一哩六十七鎖の地點栗村里に驛を設け鑛石運搬の外一般貨客の取扱を行ふ由にて來る八月一日營業を開始する豫定なるが本延長線の開通は价川邑內への交通を便ならしめ一般に於て非常の便利を得べし(平壤)

俸給

慶尙南道廳ある晉州で一箇月に支拂ふ俸給は總計一萬四千九百十六圓で其內一番多いのは道長官の六千六百七十五圓六十錢で半額に當るさいふことである(晉州)

群山品評會

全北一府七郡生産品評會は本年三月全羅北道府尹郡守會議の席上に於て略協定せられ明年群山に開催するに決したるは當時所報の如くなるが七月一日より全州に道內各郡庶務主任會議の開催さるゝを機會に生產品品評會開催に關する諸般の協議を遂ぐる事となり群山商業會議所谷垣書記長臨席すべしと(群山)

全北輕鐵と時刻

全北輕鐵は一日より左の通り發著時刻の改正をなしたり(全州)

	前	後	後	後
(發)全州	六、三〇	九、五〇	一、二〇	七、〇〇
(發)裡里	九、五〇	一、二〇	四、三〇	九、四〇

地籍調査

地籍事務調査の爲め慶尚南道に於ては技手十七名を各郡に配置する事に決定せり(晉州)

聯隊附中佐

步兵第七十七聯隊に於ては木原中佐の退職以來久しく缺員なりし隊附中佐の後任として第十七師團參謀山本步兵中佐新たに同聯隊附中佐として二日著任せり(平壤)

◆平南隊署長會議 去月廿六日より開會中の平安南道隊署長會議は一日二日にて平壤市內の見學を終り二日歸任せり(平壤)

◆慶南財務主任會議 七月八九日開催の筈なりし財務主任會議は二部長會議延期の爲め五六兩日開催す(晉州)

◆馬山自動車組織變更 馬山晉州自動車組合は總會にて資本金二萬圓の株式組織に變更する事に決定せり(晉州)

人事

▲天野喜之助氏(群山府尹) 府尹會議のため入京八日群山歸任の豫定なり

▲佐々木恩甫一部長 同城津 泗川方面に出張の處歸任

▲鈴木隆氏(慶北道長官) 鬱陵島視察の爲め出張中の處歸任

雨量は充分

三十日朝來降りしきる豪雨は翌七月一日にも尙やみもなく鮮人等は何れも喜雨來を叫んで挿秧を急ぎ居れば餘す二割强の未濟畓も此の兩日の降雨量にて全部移植をすべしと尙ほ移植了れば本年作こ古來言傳への如く或る老農者も向後順を得ば昨年に優る豐穣を見越し得べしと頗る歡喜の色を示し居れり(全州)

兼二浦を初めて觀た 林黃海警務部長曰

◆流石は黑金の輝く鄕◆ 兼二浦は三菱の製鐵事業の爲めに近來メキ〳〵發展して既に人口二萬以上の朝鮮としては大きな都會になつた、今度黃海道警務部長に補せられたる憲兵少佐林茂樹氏は記者に語つて曰く(兼二浦)

◇◇來て見て意外に思つた◇◇ 兼二浦の發展は來て見て意外に思つた三菱製鐵所の熔鑛爐から白熱せる銑鐵がドロ〳〵流れ出る處は實に壯觀である夫れから工場各部の規模も中々雄大である市中も雜と觀たが道路は隨分甚だしい處があるやうだ而し道路の方でも兼二浦の道路改修に就ては既に大體の調査を了へてゐるから早晩立派な道路になるだらうと思ふ先づ夫迄の辛抱であらう予の前任地の遂安は滿鐵附屬地に立派な道路ができてゐるが一步足を附屬地外に出すと支那馬車の往復が頻繁で雜沓するからお話にならない凹凸な道路で兼二浦の道路よりモツと酷い 何…(兼二浦)

◇◇警察署の新設は何時◇◇ かつて之れも早晩出來るが豫算其他の關係から延びて居るのだらうが而し形勢が一變して或は直設せらるゝかも知れない下水も必要なものが出來るらしい明年になれば兼二浦の市中は見違へた樣になるだらう

飲水缺乏せる兼二浦に於て

掘鑿の獎勵と共同井戶

兼二浦には飲料水乏しき爲め從來市民は此の問題に關しては頗る苦しき經驗を有せるが本年は三菱製鐵所より水道水の分給を受け稍其の不足を補ひたるも之れとて永久的のものならねば松林面事務所に於ては本年度面費中より六百圓の共同井戶掘鑿費を計上し黃海道地方費より今回六百圓の補助ありて都合一千二百圓の支給を得たる爲め本年中市內に十二箇所の共同井戶を掘鑿することゝなりたるが又た市民中自身にて井戶を掘鑿せんとするとは井戶一箇所に對し現金百圓の補助をなすべく希望者は至急面事務所に申出づべし(兼二浦)

◆奉天公所後任 奉天滿鐵公所長橫山東司氏は北滿電氣會社常務に榮轉し哈爾賓に赴任せるが同氏の後任は今回撫順炭礦庶務課長小日山直登氏に決定し撫順より奉天に來り一日は鎌田公所代理と與に張督軍並に支那各文武官界を歷訪して新任の挨拶を爲せり(奉天)

◆兼二浦の人力車賃 近頃朝鮮會議に於て一番景氣の好いことは兼二浦の人力車賃が割に高いことで例へば一たいふので人力車挽き人五名より三哩方の値上方を賴ひ出たといふが市民の評としては營業者の云ふ程に安價な賃でもないから此の上値上の必要は無からうとの噂である(兼二浦)

憲兵と猛虎 卅分間も睨合

◆六十餘貫の大虎を漸やく喰ひ止めたる…

鏡城郡輪城面直頭洞部落に夜間猛虎現はれ農家の牛三頭を掠し去りたりとの被害者より直頭洞山林監視所に訴へ出でたるより石川憲兵上等兵(參三郎氏)は鮮人と共に約十五町を距つる鷹田谷に於て前肢及び頭部を嚙まれて殺害されたる牛の屍體を發見せるが尙も深く分け入りし闘らず前方を見るに

僅か七八間許り

の距離なる崖上に一頭の巨大なる虎が此方に向つて睨み付け居たるより直ちに拳銃を差向け凝視し同行せる鮮人に急ぎ監視所に走せ歸り騎兵銃を持ち來るべく命ぜるが

上こ下こに於て

此間約三十分が程は僅か七八間を隔てゝ居る間に人間こ虎こが鋭く睨み合ひゐたるが漸く鮮人は銃を取り來りしにぞ石川憲兵は狙ひを定めて發射するや狙ひは誤たず命中して虎は

一聲高く咆哮し

彼方に飛び去り山中深く逃れ去らんとせしより憲兵こ鮮人こは虎の傷所より流るゝ血潮を辿りて追跡せるに草叢中に這ひりしま、此方を睨み居る虎を發見せしより更に銃を擬したるに虎は又もや逃げ出せしが之れを追ひ擊ちして遂に斃したり件の虎は

身長六尺五六寸

高さ三尺五寸重量六十貫餘ある珍らしき大虎なり因に石川上等兵は昨年も豹一頭、熊三頭を獲たる經驗ある人なりと(淸津)

度々娼妓の自殺未遂ある樓

大邱八重垣町遊廓第一千方樓抱へ娼妓花子こと由田みつ(二十)は六月廿九日午前十一時半頃遊廓醫院へ行きて立ち出でたる儘歸宅せざるより同樓にては心當りの個所を捜索中午後十時半頃に到り元町にて發見連れ歸りたる所其夜二時頃同家庭內の深さ一丈に及ぶ井戶に投身したるを家人に見付けられ一命を取り止めたるが自殺の原因は强度のヒステリーにて併て結頭腎炎に入院中騙談客なる某こ屢々嫖遊したる爲め多額の負債を生じたるためならんと而して同樓にては襲に捕獲油にて自殺を企てたる娼妓あり重ね〴〵死に損ひの娼妓を出すこは災難こいふべし(大邱)

濃霧と風雨で

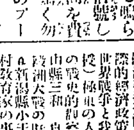
◆聯絡船の延著勝ち◆

六月二十八日から翌二十九日にかけての濃霧は近來稀有なるもので航路に加へて風雨こ來てゐるので連絡船が延著したり又は不著したりして大分困らせられたが殊に二十八日の夜の如きは五鐡島沖から…

十八歲の拐帶

五千圓の集金帳を棄つ

淸州市壽町五十番地川上德平方雇人熊本縣玉名郡六栄村大字折崎松岡仁平(こゝ)は…如くなる五月二十八日商用にて鳥致院に赴き支那人商店より受取りたる掛金二百三十七圓五十錢を橫領し逃走せしが其後同人は公州に至り時計其他を購ひ其の家の自轉車を乘捨にして太田に飛び衣類蒲團を整へ鄕里熊本縣に歸り潛伏中取押へられ漸く去る六月二十四日淸州署に護送され來れるが同人は五千圓の集金帳を歸途京畿界津に投棄したることを一歲に似合はざる闘々しき仕打をなせし事まで自白せりと(淸州)



此の頃の大連の噂は埠頭の火事こ野球の話ばかり▲自動車が二三臺續けて走つてもソレ又火事何處かの煙突から煙が出ても何處が燒けてるらあないかといふ有樣、それもそれの筈三月から八回六月中に四度も燒けて七回こ八回の間は中一日間を置いたばかりだ▲火災保險の方では何でも此の怪火は保險金取りの火だから保險解除をしたら怪火は自然なくなるだらうこいふので保險解除をしたこの事だ▲それで保險解除こしての解除だこれで怪火が消滅するものでもあるまいこいふ變なものだ▲全市野球の熱の盛んな事は大連に及ぶ處はあるまい▲聞く處に由れば市內の書肆で今の春から賣つた野球に關する書物は約三千冊此の價千三百餘圓に上つたそうだ(大連)

亂暴者二た組

人の喰らい兼二浦にて

◆五人で一人を毆る◆ 兼二浦果實社傭ひ大工職根留吉(二五)大谷近三郎(二二)井上利吉(二〇)野口與次郎(二二)吉田京作(二二)の五名は東兼二浦中飲食店お多福方に飲食せしが偶々同家の客にて林某と口喧嘩の末同家より飛出し林を毆打にして數個所の傷を負はせしため拘引さる

◆催促されて仲居を◆ 兼二浦鐵力組工業白鐵方職人植岡敬造(二〇)尼化道義(四一)は東兼二浦中料理店松月方で飲食中同家の仲居川崎はる(二二)が來りて代金の催促をなせしこて醉ひたる人にてはるを毆り手々に摸り込みたるため兩人こも拘引せらる(兼二浦)

◆葬儀見物の途中で轢死 慶北尙州郡化東面の韓錫雨(二二)こいふ老爺は同郡牟韶錫の葬儀を見物に赴く途中附近線路を通り拔けんとし折柄行木驛を發せし北行列車が進行し來り遂に轢殺さる(大邱)

◆徵兵保險こ京城 徵兵保險株式會社にては今回朝鮮方面に活動の爲め從來の代理店を廢し市內本町四丁目三十二番地に出張所を新設し吉澤英氏所長として來任したり

◆早大の夏期講習會 早稻田大學校外教育部の出張講演は今夏も東京其他各地に左の如く開催すと(東京)同大學大講堂にて自八月二日至十一日、世界の食糧戰(平沼法學博士)國法要義(清水法學博士)日本最近の經濟的政策(服部商業會議所書記長)世界戰爭と我國の教育(中島半次郎教授)極東の人種(鳥居龍藏講師)現時歐洲の戰史的觀察(林參謀本部課長)▲廣島縣三和 自七月廿七日至八月一日、歐洲大戰の歷史及地理其他(浮田教授)▲新潟縣小千谷町 八月二日三日、農村教育家の事業(平沼淑郎博士)▲新潟縣小出町 八月四五日、農村教育家の事業(平沼淑郎博士)▲秋田縣小坂町 自八月六日至十日、最近教育思潮(中島教授)▲岐阜縣 自八月十日至十四日、歐洲文明の淵源(內ケ崎教授)▲福井縣鯖江町 八月中旬五日間、題未定(志賀教授)▲福岡縣大牟田市 八月中五日間、題未定(志賀教授)▲福岡縣北野町 自八月二日至六日、海外發展の地方(志賀教授)▲大分縣佐伯町 八月中、題未定(浮田博士)▲岡山縣… 自八月二十五日至廿九日、農村教育家の事業(平沼(淑)博士)▲秋田縣大館町 八月下旬五日間、題未定(志賀教授)(此他交渉中)

欺されて捨らる

去月二十五日の夜著の連絡船で釜山に上つて本町の尾張旅館に泊つてゐる名古屋市中區大井町鈴木高三(二三)こ云ふ男が棧橋の交番所へ訴へ出でた顛末を聞いて見るこ斯うである、元來此の高三君は名古屋の或る履物商の店で懸命に働いた結果主人から取立られて工場長こ云ふ格になり方々得意廻り等をやつてゐる內不圖途中で見も知らぬ人こ言葉を換はしたが緣こなり儲金けは朝鮮に限るこいふ樣な事で到頭出奔して其の人こ一所に釜山迄やつて來たが釜山の棧橋に上るこ杖こ賴んだ人は見當らず斯の仕末こは連れて來た男も男だが高三クンは一體何うする心算だらう(釜山)

慶北共進會

◆今秋大邱に開催す◆

慶北共進會事務主任松浦道書記は川其他へ出張中の處此程歸任せしが其結果左の如く決定す

汽車賃割引(二割)

滿鐵會社にては慶北第二回共進會開期中朝鮮線の中京釜本線京城、秋風嶺の兩驛間大邱驛相互間並に釜山、馬山、西大門、慶州、龜山、浦項、新村、大田、禮山、鳥致院、花山、龍山、仁川の各驛より大邱驛相互間の汽車賃を往復共二割引きを爲す事に決定したるが通用期限は旅行日數を除き大邱滯在三日間なるを限る事又貨物の取扱にあつても出品物輸送に對し二割引を爲し尙其期間は往復十一月二十日より十二月三十一日迄道十五日迄こ協定し略ぼ交渉纏りたる由なり

軍艦派遣請願

共進會にては會期中迎日灣に帝國軍艦の派遣を請ひ一般に縱覽せしめむ爲め總督府に交渉方依賴したるも目下武官不在中なるを以て總督府東京出張所より直接海軍省に交渉する由なれば多分認許さるゝに至るべしと

◆產業講話會 朝鮮農會にては共進會々期中適當の日を擇み同會主催にて一般產業講演會を開催する事に內定したりと

◆津村兒玉商會 同商會にては會場に特設館を配置し人參及人參加工品を陳列し即賣をも爲すべく又一般觀覽人に對しては人參湯を接待する由なり

◆三輪商會 京城の同店にても六坪の特設館を設備し農具を參考品として出品する由

◆中村鐵工場 四坪の特設館に用水器の出品を爲す筈

◆滿鐵會社 同社に於ては十坪內外の特設館を設備し參考品の陳列を爲す由

◆三越吳服店 同店よりも相當の設備をなし參考品を出品する筈

◆美術品製作所 李王職美術品製作所より製品を出陳すべし

◆警務總監部 よりは衞生上に關係ある參考品を出品する由

◆金融組合會 京城の同會よりは朝鮮金融機關に關する記錄模型を出品す

◆東拓會社 は朝鮮、南洋、滿洲の漁業を以て營業としたる農事施設狀況模型を出品する由

◆慶南の出品 慶南道廳より側壁を合し約二十七坪の面積に特設館を設け左の出品をなす由なり 農產(五三)畜產(三五)水產品(四〇)林產品(一〇)蠶產品(一〇)酒類品(三〇)工產品(五〇)計二三八點

◆江原道出品 江原道種苗場外五箇所よりの出品左の如し 小麥、大豆、小豆、明太、鯛、北寄貝、サンマ燒鮮、鯖、鱈

◆咸北の出品 咸北よりは普通出品物こして淸酒、燒酎、味噌、醬油、參考品こして大豆外三十一品の出品申込ありたり

◆全北の出品 全北よりの申込は女米外二十五品の由なりと

仁川米豆取引

[illegible]

連絡船上陸客 二日

淸 堤正元、萬代、大、阪本恭吉、吉田卯之助、齋藤やよい、同雅夫、山根文延、同… 三等(七十四名)

[illegible]

龍山倉庫金融株式會社募集

募集要項

資本金總額 貳拾萬圓

壹株ノ金額 五拾圓

募集株數 一千九百五拾株 (貳千五拾株ハ發起人引受濟)

申込株數單位 拾株以上

申込期限 七月三日ヨリ同七日迄

申込證據金 一株ニ付金貳圓五拾錢

募入決定方法 應募株數超過シタル場合ハ發起人裁定ス

第壹回拂込金額 一株ニ付金拾貳圓五拾錢

京城府漢江通…番地 龍山倉庫金融株式會社創立事務所

發起人 鳥飼武次郎 松本嶋… 藤谷秀三郎 岡本宇之助 富井管太郎 望月憲治 原田志摩 川… 若狹順之助

株式申込所 龍山驛前太陽館內事務所 株式會社十八銀行龍山出張所 株式會社朝鮮商業銀行南大門支店

阿部吉田兩氏送別會

阿部京城日報前社長吉田元朝鄙專務兩君の爲め左記により送別會相催度候間御贊同の上奮て御來會相成度此段廣告候也

大正七年七月三日

一日時 七月四日 午後正六時半

一會場 花月樓

一會費 金六圓 當日御持參

一申込 受附花月樓帳場

發起人(イロハ順)

萩谷籌夫 西村道彥 遠山熙 趙重應 荻田悅造 金谷充 韓相龍 高野省三 宇佐美勝夫 久保要藏 山口太兵衛 松永武吉 前田昇 牧山耕藏 馬詰次男 松崎時勉 本本倉二 三島太郎 持地六三郎 鈴木穆

大山崩るゝが如く

期米倍々暴落す

四月廿七日京城日報及び本掌揭示を以て政府の米價調節策必ず効を奏し七月に到らば一大暴落あるべしと豫言せしが果せる哉七月一日に到り大阪堂島の崩落に次で仁川(米)も落し遂に仁川市場は…の爲め當中…立會停止するに到れり

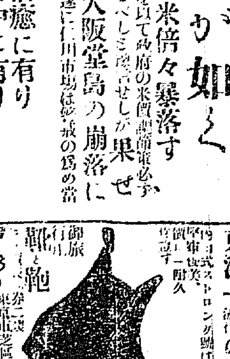
醫者の能は病の治癒に有り易者の能は占の的中に有り

京城明治町二丁目

周易 岡村介石

京城本町一丁目江戶川橫

岡本齒科醫院

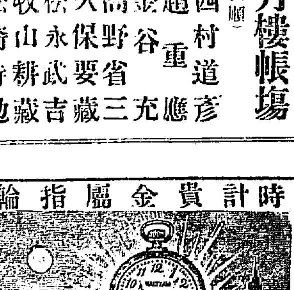


東洋一 新形の魁

御旅行用 鞄と靴

內田靴鞄問屋

電話一五五一 振替一八七七



時計貴金屬指輪眼鏡商

京城本町二丁目

三浦天龍堂

電話一〇一〇 振替京城三〇四番

うなぎ

宇田商店

電話一五一番

京城地方法院 商業登記公告

[illegible]

塚原卜傳

第百二十五席　悟道軒圓玉口演

大船屋德兵衛呆れ返つて 德『冗戯いつちやア不可ません、人に物を頼みながら呑氣な事を言つちやア困る、第一女が惚れるか惚れないかまだ御城内の人に話しもしない中に分るものぢやアございません 熊『アハヽヽまア私の事だから其位ゐな事は乾度あるだらうと思つてチヨイとお話をしたので 德『呑氣な人もあつたもんだ、呆れて物も言へない 熊『其れは冗戯だが一つ何分お頼み申す 德『宜うございます』と德兵衛受合つて呉れた、二三日待つて居る中に德兵衛が城内の者に話をする、丁度出入りの小間物屋が何うかして久しく來ない女達が困つて居るから早速入りをして呉れ身許は德兵衛が受合ふなら宜いからといふ返事、德兵衛が此事を熊吉に話す、熊吉喜こんで 熊『イヤどうも種々お骨折を願つて有難かつた、私も御城内へお出入りが出來れば本望、何れ五百石の殿樣になつた時にお禮をする 德『まア當にしないでお待ち申しませう、時に熊吉さんと仰しやいましたが何うも貴方の名前が熊吉では强すぎて小間物屋らしくない何とか一つ小間物屋らしい名をおつけなすつたら如何で 熊『さうですね、別に考へもないから宜しく御亭主にお願ひ申しませう、何とか旨くつけてお呉んなさい 德『さうですね、ぢやア手付かず小松屋として名前は四郎吉が宜うがせう、私が以前懇意にした小間物屋が矢張四郎吉といつたから 熊『成程四郎吉、宜い名前だ、チヨイと四郎さん…女にも呼び宜いや 德『お前さんは女の事ばかり考へて居る、それぢやア明日からでもお出なさい 熊『有難うございます』熊吉心から喜んだ、之れでまづ城内へ出入りが出來る、出入りをした上で一計略と大に喜び、翌日になると早朝から支度をして、德兵衛に敎へて貰つた通り城内へ參りまして屋敷を廻る、熊吉如才ない男だから上り込んで喋舌り出すと其面白さ、種々苦勞して來たから話をそらさない、對手は世間知らずの城内の女小供、今度の小間物屋は面白い男だと喜んで買物をする、固々商賣にする譯ではないからその代物の廉い事一通りでない、之れが評判になつて其翌日から熊吉の行くのを待兼ねる位ゐ、其中に段々屋敷の主人とも近付きになる、話が面白いから小松屋小松屋と大持て、大層人氣者になりました、歸つて來て今日は之れ之れと話をするから大船屋德兵衛も世話甲斐があつたと喜んで居る、或日熊吉城内へ來て一通り廻つて裏門の方へ來ると日蔭の宜い二十間ばかりの空地へ御家中の仲間が二十人ばかり集まつて劍術の稽古をして居る、指南番といふのは家中の若侍で石川淸次郎、天野藤助といふ二人、腕も出來ない癖に威張つて 淸『サア來なさい』コレさういふ竹刀の持ち方をしては不可ぬ、此間から敎へて居るではないか、竹刀を持つのだか天秤棒を持つのだか譯が解らぬ、無器用な男だ、右の手で輕く鍔際を持つて左りで柄頭を堅く握つて、打込む時は身體と竹刀を一緒に延ばすんだ、ソレ斯ういふ工合だ解つて置け、コレコレまだ打込んで來ては不可ぬよ、拙者が身構へをして氣合を掛けてからだ、隙を窺つて打つ奴があるものか、卑怯な眞似をしては不可ぬ』頻りにやつて居る熊吉荷を背負つたまゝ立止まつて見て居るとポンヽヽポンと打合つて居る中に仲間が飛込んで石川の頭をポカンと一つ打つた、石川體を交さうとして足が辷つたから仰向に引繰返る、其上へ仲間がのめつて額をコツンと打つた、其様子が可笑しくて堪へられないから熊吉が思はず聲を擧げてカラカラと笑ふと天野藤助がヒヨイと見た。

流行浴衣地
まる三呉服店
京城本町貳丁目 電話一五七 振替貳六五

◎大田錦山間 自動車試乘記（下）
大田支局 一記者

◆又大田と錦山との經濟的關係も交通の關係から最も密接であつて一箇年の取引高は約六十萬圓と稱せられて居る、今後自動車の開通によりて双方の享くる利益は蓋し思ひ半に過ぐるものがあらう

◆經濟上の關係は前述の通りであるが、是迄馬背や人力車の便を以てしても五六時間は要したのが愈々自動車の開通となれば一時間半多くて二時間で往來が出來る譯で錦山有志の喜ばれるのは無理からぬ次第と推察する

◆錦山には郡廳、地方法院支廳、金融組合、郵便局、公立普通學校等もあつて日本人の在住者二百九十名、小學兒童が三十名内外あるとの嘰である

◆錦山の產物は米、大豆等を主なるものとして雑穀是に次ぎ錦山人蔘も名產の一たるを失はぬ、蠶業は未だ初期に屬するかして今年の春蠶收繭高は百五十石に過ぎぬとは尹郡守の談である

◆今回の試乘は單純の試乘であつて早速一般乘客の爲めに營業を開始する譯には行かぬが何れ近々双方の道路が完成の上と云ふ事であるから八月中には確實に營業開始を見るであらう斯くて一行は午後四時過一路平安の試乘を終へて大田に歸つた（完）

七月五日　九星
本命五黄 八方危 先勝 舊五月廿七日 癸丑

▲五黄 けんのんな事有日新事見合 南方入學名弘出 漁舍件求職 婚禮 機械業等は吉 晴劍なし ▲六白 成効の日 轉居開業萬吉 ▲七赤 百事亨通の日 轉居 行商 入學名弘家作 婚禮 大なる企劃 樂隊 萬吉 ▲八白 大概の事宜日新事手控 爵事は吉 時曙にせらるべし ▲九紫 開運の日 轉居 石商 入門名弘求聯金件 普請 婚禮定 開業 萬吉 ▲一白 穏調の事宜日新事手控 穏事は吉 衛生に注意せらるべし ▲二黒 有かた過ぎる事宜日新事手控 吉商 放財を防ぐべし ▲三碧 進退の事宜日新事手控 吉 ▲四緑 取こし苦勞の事宜日新事禁ず 結婚事は吉 保證紹介等せぬがよし

演藝案内

京城壽町 電話五七八 壽座
當七月四日初日午後六時より 青年浪界の横綱吉田小奈良丸一行
▲美人と花（吉田春浪）▲三日月次郎吉（東洋軒雷右）▲日蓮の魁（京山桃子）▲白浪庵（桂月）▲鈴木勇作（京山藤穂）▲水府公（廣澤菊州）▲赤垣源藏 ▲吾妻の義侠（一席）吉田小奈良丸
▲特等一圓 一等七十錢 二等五十錢 三等卅錢 ▲初日に限り各等半額

電話二二六三七 二二六六 黄金館
天然色活動寫眞會社京城金出一手代理店
六月二十八日より 番組 ▲西部劇 ツノ子の復活 澤村四郎五郎市川莚十郎一派大車輪 ▲（舊劇）颱風來（大郎）（全三巻）▲泰西大活劇（五千呎）▲伊國アンブロシオ社傑作 ▲新派悲劇（赤阪情話）（全四巻）

櫻井町 電話八七三 大正館
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
當る二十八日より新寫眞提供 ▲寫眞 ▲英國シーシーエフ社作 ▲大滑稽（チヤプリンと行燈）最長尺 ▲軍事活劇（勇敢なる兵士）全三巻 ▲新派悲劇（雁の便り）全四巻 ▲尾上松之助一座（舊劇）全四巻

明治町 浪花館
△本日より開演▽ 浪界之少年横綱 桃中軒妙雲一行 出演者多數に付必ず午後七時より開演仕候

京城本町 電話一〇五〇 壽館
女流浪界の正横綱 笑樂家 當七月三日より（十一日間）

早川演藝部直營 活動寫眞常設館 有樂館
◎諷刺喜劇 自動車成金 全五巻

明治町二丁目 電話二六〇番 浪花館
當る七月三日より七日間 浪界少年の横綱 桃中軒妙雲一行

わきが
わきがを治しては是が一番 特効藥ファーザー 一圓六十錢 京城黄金町三丁目 山田文殊堂藥房 電話一九四九番

一番よくきく マラリア特効丸 龍山林藥房製劑
賣價表 四粒入金十四錢 十二粒入金三十錢 二十五粒入金五十錢 ニセモノあり御注意
本舗 林藥房 龍山元町二丁目
代理店 京城本町 合資會社山岸天佑堂
同 釜山辨天町 大黒南海堂
同 平壤大和町 森田芳藥堂支店

質 黄金町長橋町入口 電話一九一六番 田村質店 商品擔保便利取扱

寫眞出張撮影 寫眞銅版 亞鉛版 京日寫眞製版部

MITSUWA HAIR LOTION.

Apply a few drops of the lotion after washing your hair, you will at once notice the delightful sensation of keeping your hair clean, sweet and healthy. It has a faint, yet delightful smell. It is the best lotion known to remove dandruff, stops scalp itching and prevents hair from falling.

Price 50 Sen and 80 Sen.

◎ミツワ月の雫（みつわ・つきのしづく） 頭髪用香水
品質優秀にして毛髪の衛生に適せるミツワ石鹸を以て毛髪を洗滌せる後本品を用ふれば温雅なる芳香を放ち、自ら爽快の感を得、毛髪の發育を助け營養を良くし、毫も之を害ふことなく、其色澤を艶麗ならしめ脱毛及雲脂の過剰を防ぐの効あり、要するに本品は毛髪の衛生に留意し美髪を欲するものには、須臾も缺くべからざる完全の頭髪用香水なり。
定價 金五十錢 大壜金八十錢 内地以外は關税運賃を加ふ

EAU DE FLEURS.

Made from the best material by a perfect chamical process, has a delicate and exquisite fragrance. The application of this Mitsuwa Lotion to your underwears, towels, handkerchiefs, sheets or water when washing or bathing, will be charmful and quite refreshing.

Price 45 Sen and 70 Sen.

◎ミツワ花の雫（みつわ・はなのしづく） 肌着用香水
從來の肌着用香水は徒に强烈なる香氣を發し、手巾衣服等に振掛くれば汚點を殘すもの多きに反し、本品は人を魅するが如き馥郁たる芳香を放ち、肌着手巾敷布其他に振掛くるも、毫も汚點を殘す憂ひなく又洗面盥浴槽等に用ふれば、能く淸爽の感を齎らすこと他に之に比すべきものなし、實に本品は各家庭に常備すべき理想的優良なる香水なり。
定價 金四拾五錢 大壜金七十錢 内地以外は關税運賃を加ふ

MITSUWA BRILLIANTINE.

Modern science has brought us such an excellent hair oil as "Mitsuwa Brilliantine." It bases upon the famous Mitsuwa Camellia Oil, whitch is matchless for the hair health, combined with the best perfume by a special process. It nourishes the beauty of the hair and maintains its vitality, lustre and colour. Also it removes dandruff, stops scalp itching and prevents hair from falling.

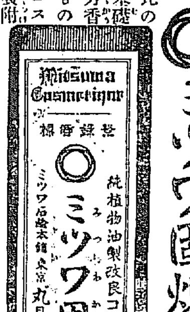
Price 30 Sen and 50 Sen.

◎ミツワブリリアンチン 椿油に香水を配合せる光澤美髪料
本品はミツワ椿油を基礎とし之に品質優秀香氣温雅の香水を配合せるものにして振掛くれば毛髪の諸症の原因を除き更に毛髪の營養を良くし其の色澤を漆黒艶美ならしめ而も芳香馥郁として自ら爽快の感を與ふる毛髪の最美の發揮に最要の模範的美髪料なり。
定價 金參拾錢 大壜金五拾錢 内地以外は關税運賃を加ふ

MITSUWA COSMÉTIQUE.

Mitsuwa Cosmetic is made by experts through a special process from carefully selected Mitsuwa Camellia Oil. It contains no grease nor injurious substances to the hair. Moreover an exquisite fragrance is blended in it. It possesses all the essential qualities which improves and nourishes the beauty of the hair and maintains its vitality, lustre and colour.

Price 20 Sen.



◎ミツワ固煉油（みつわ・こすめちつく） 改良コスメチツク兼用鬢附油
本品は最良無比のミツワ椿油を基礎とし温雅なる芳香を加へたるものにして在來のコスメチツク或は鬢附油に代用すれば毫も毛髪を汚さず毛髪を漆黒艶麗ならしむべき實用的美髪料なり。
價金貳拾錢 内地以外は關税運賃を加ふ

MITSUWA TSUBAKI (CAMELLIA) OIL.

Mitsuwa Tsubaki (Camellia) Oil is admittedly the best for the hair. It enhances the natural lustre and strength of the hair, and nourishes it generally. The oil is compressed from the camellia, and through a sanitary process, is bottled absolutery pure. Perfect for toilet.

Price 20 Sen, 30 Sen and 55 Sen.

◎ミツワ椿油（みつわ・つばきあぶら） 本邦人の毛髪に適する新鮮純良なる
ミツワ椿油は少しも熱を加へずに搾取した新鮮純良な椿油で、普通の椿油と異り、毫も苦味を含まず『理想的滲透性不乾性油』と云つて毛髪に滲込む力が强いから毛髪と空氣と接觸することが少く、從つて空氣が毛髪に接觸する結果の赤毛や白毛に早く成り易い髪を除き、毛髪の黒い色素が段々に減少して凝つた臭氣を發する等のことも無く毛髪の發育を助け且つ色黒く艶を麗はしくし裂毛、折毛などの憂は決してないのである。（現品）
定價 小壜入 金貳拾錢 中壜入 金參拾錢 大罎入 金五拾五錢 内地以外は關税運賃を加ふ

新式魔法瓶
△圓筒形 三合入 金一圓九十錢 四合入 金二圓三十錢
△水筒形 四合入 金二圓六十錢 五合入 金三圓
△送料 鮮内二十四錢 鮮外四十五錢
京城日報代理部 京城太平通 電話六〇〇九番 振替京城三〇〇番

内科 小兒科 入院隨意 每日五名を限り無料施療す
醫學博士 古城憲治
賛化病院 京城明治町一丁目 電話二四二番

新荷著 懐中時計 スイツル製

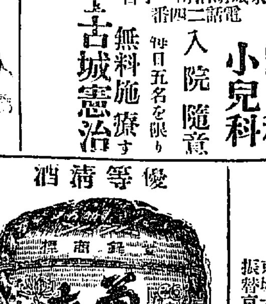
右は今回新荷着の商品にして時計 蓄音器 ミシン機 自轉車 洋酒 各國貨直輸入商
インクレッシー商會 本店京城本町二丁目 電九七二

花柳病外科専門
梅毒・淋病・泌尿生殖器病・睪丸病・肛門病・皮膚病・婦人病・神經衰弱・ヒステリー
京城南大門通第一銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六五番

廣告
初夏之砌各位愈々御精勵之段奉慶賀候却說弊店儀今般九州產業株式會社と契約し同社製造に係る石灰滿鮮一手販賣方引受け申候に就ては販路擴張の爲め大々的努力を以て各位の御用命に應じ可申候間御試用の上續々御用命の程奉願上候
煉化瓦製造 左官材料一切 籾摺臼及歯木 雲母、蠣灰 食鹽類販賣
九州產業株式會社石灰滿鮮一手販賣元 釜山府佐藤町十番地 三好商會 電話三二三番
追て御希望に依り地方特約販賣の御相談に相應じ可申候間御照會願上候

銘仙の方地
新荷着 輕くって涼しいその着心地を味ひ給へ
◇白地、及び海色地で、かすり、縞、格子類 一反 金拾圓より金十二三圓迄 ◇送料 鮮內十二錢 鮮外三十錢
◇地方よりの御注文は男女年齡柄向きの御嗜好等を以て御申越し下され候はゞ必ず適當の柄相選み代金引替にて御送り可申候
京城日報代理部 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番

優等淸酒



醸造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安支店 電話四一三番 振替口座四一三番
樽賣御斷り

内科 外科一般 小兒科 婦人病 皮梅科 花柳病
診療 朝鮮病院（入院隨意） 京城黄金町二丁目（長橋通角）（電話二八三七番）

特價提供
ピーチー會社製 オーナ バーレット會社製 グラス 萬年筆
破格大割引可致候此機を逸せず御用命願上候 多數御買上の向へは特に勉强可致候
金物商 藤本藤次郎本店 京城本町二丁目 振替貯金口座京城一五六番 電話長四五番・二七四番
割引定價表は御申越次第送呈

山田耳鼻咽喉科 福田歯科醫院 京城（壽座隣） 電話二二七七番

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行 振替貯金口座京城三三三番 電話六〇一〇番
支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、青島、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺
出張所 林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村、鄭家屯、上海
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

汽車 京釜線（南行） 同（北行） 京義線（南行） 同（北行） 京元線 京仁線 [illegible]

第五版

京城日報

本紙定價 壹部參錢 [illegible]

發行兼編輯人 小川三之介 印刷人 奥山直[illegible]

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 [illegible]

支那の政戰

支那政戰の、平穩なるが如く見ゆるも、其實質は一時的の微穩にして、將に來らんとする、總統選舉に對する、施策の計畫中にて、裏面には各派各系共に、暗中飛躍を試みつゝあり。宛も稻妻を見て而して徐に雷鳴を聞くが如く、目下の支那政界は、隨處に稻妻を見つゝあり、近く大雷鳴を聞くや、疑ひを容れざる也。

此の大雷鳴の導火線たる、大總統候補者も、日を經るに從つて、徐世昌氏有力となり來り、馮總統の再選は、遂に絶望に終るに非ざらんかの觀あり。徐世昌氏は、今の處南北を通じて、氣受け宜敷が如くなれば、中心問題となり、政界に將に紛擾を惹起せんとするは此の副總統問題也。段總理は、勿論腹中野心を藏せざるに非ざるも、唯名取實の方針を以て、時局に對し、南方派は陸榮廷氏を推さんとし、曹錕氏亦野心あらざるに非ず、尚ほ且つ馮氏總統に失脚せば、更に副總統を爭ふべく、而して何人たるを問はず、副總統たるの要件は、必ずや新國會舊國會の際約法を改正し、副總統ご國務總理こを兼握して、北洋權を握らんとすべし。然り而して北洋最も苦境にあるものは馮氏也。曹錕氏の立候補は、北洋派より、乘せられんとするに非ざるなきか。

總選舉の結果は、本月廿六日頃を以て、略ぼ確定すべきが、今大勢より觀想せば、進歩系は先づ三十餘名、討論會を二十餘名、其他は安福交通兩派の占むる處となるべく、觀察するが至當なるべし。總統選舉は、何派何系に論なく、安福交通兩派に對抗し得ず。從つて來るべき新議會も、全然兩派が勢ひを恃みて、操縱する處となるべく、總統選舉亦、兩派が半ばより主張する、徐世昌氏を推舉するは、當然の歸結也。茲に於て馮氏再選は遂に絶望に終るべきは、疑ふの餘地無きが如し。然らば馮氏が、如何なる對應政策を以てするかは、頗る興味ある問題と云ふべし。されば馮派は先づ議員選舉に於て、三分の一を自派より選出し、以て消極的に、安福交通兩派の行動を掣肘し、徐に劃策する處あらんとせしも、此の第一計畫も、既に水泡に歸したる以上、表面にては、兩派の曖昧議員買收に、汲汲しつゝあるが如く見せかけ、裏面に於ては早くも、廣東國會と握手し、而して大いに成すあらんとするものの如し。廣東國會は、最近舊議員等の、再選見込なき者等、續々來り集まり、今や將に、法定數に達せんとするの、形勢にあるが故に、早くも纂取したる馮派の策士連は、此の機に乘じて、該國會と連絡を取り、北方總統選舉以前に於て、先づ該會をして馮氏を總統に、陸榮廷氏を副總統に選任せしめ、北方の機先を制し、以て北方の一切の行動を掣肘し、北方若し徐氏を推戴せば、斷然南北に剖分し、一時兩黨分立の形勢を示し、徐に合同の時機到來を俟つて、有利の地位を獲得せんとするもの、如し。之れ即ち北方が、陸榮廷氏を副總統に推擧すべしとの口實を以て、南方と融和を圖らんとする形跡あるが故也。若し此の北方の南方誘引策にして成功せんか馮派は愈々失脚の他策無きが故に、更に企て、北方に副總統候補者を擁立し、陸氏との競爭をなさしめ、以て陸氏をして北方の眞意を疑はしめんこし、先づ陸氏こ競爭の資格を有する、曹錕氏が、副總統の野望あるに乘じ、巧に同氏を煽動し、益々其野望を助長せしむるこ共に一方巧妙なる手段により、陸氏を誘致し以て、目的を達せんこしつゝあるが如し。されば最近に至り、曹氏が野心滿々こして、増大しつゝあるは、此の間の消息を、傳ふるものと見て可ならん。然れども大體に於て、馮派は有利の位置にあらざるも、此の反間苦肉の劃策が、大局に及ぼす影響の、大なるは勿論也。

各地の情報或は、事實を綜合すれば、先づ叙上の如きが故に、爾今是等の劃策が、如何なる形式に於て、出現し來り、時局に如何なる變化を、招來すべきやは、最も興味ある、而して注目すべき問題なりと、云はざるべからざる也。

貰税令の改正に就て（二）

鈴木度支部長官談

朝鮮産葉煙草の消費税は鑑定價格を標準とし之を課徴するは上述の如し然るに各所に散在する無數の葉煙草貯藏場に就き葉煙草を鑑定するは到底容易の業に非ずして自然迅速公平を缺くに至るなきを保し難し之が爲葉煙草引取上に

▲不便不利を來すが如きは税令改正の本旨に悖る所以なるに依り改正税令は藏置場制度を廢し葉貰を鑑定未濟の儘葉煙草貯藏場より藏置場に運送し集合鑑定を求め得る便法を認めたり集合鑑定に依るときは鑑定の迅速にして且公平を期し得るのみならず一旦藏置場に入るゝときは金融の便利ありて從來行はれたる取引上の悪弊を一掃し耕作者の利便を増大し得るは勿論の理なり故に政府は主要産地に漸次耕作組合を増設し組合をして藏置場を設置せしめ組合員たる貰耕作者の

▲利用を促す見込なり又葉煙草引取人には製造煙草の引取人こ異なり資力の薄弱なる者多數あるべきに依り製造煙草同樣擔保を提供して三月以内消費税の徴收猶豫を求め得るの外保證人を立つることは同一の便宜を與ふることゝ爲したり改正税令は煙草耕作の改良發達を促す爲耕作指導を一層周匝ならしむると葉煙草需給の調節に遺漏なきを期すこの必要に基き葉煙草耕作地を漸次整理する前提の下に制定せられたり故に政府の指定したる耕作地域に於て政府の指定したる煙草の

▲種類を耕作する者に非ざれば煙草耕作の免許を與へざる見込なり從て煙草を耕作せむとする者は毎年免許を受くるの必要あるは勿論なりとす煙草産業を發達せしめ税源を豐富ならしめんこせば自家用煙草の耕作は之を禁止するを當然とす然るに朝鮮には自ら耕作したる葉煙草を喫用する習慣未だ普く行はる、を以て今俄に之を禁止することは生活程度に急劇なる變化を與ふるの危險あり故に當分の間耕作地域の内外を問はず一戸三十坪以内の面積を限り自家用煙草の耕作を免許し民度及び風習に

▲適應せしむるの措置を採りたり而して自家用煙草耕作者には年額八十錢の耕作税を課し其の耕作に係る葉煙草には消費税を課せざることゝせり要之改正税令は葉煙草に消費税を賦課するが爲將來葉煙草の品位を改善し其の產額の增加を誘致し漸次煙草產業の發達を企圖する上に多大の効果あるは信じて疑はざる所なり尚改正税令施行の際當業者の特に注意すべき點を擧ぐれば（一）從前の規定に依り煙草耕作の免許を受けたる者は六十日以內に新に免許を出願するの必要あり（二）賣商者は

▲明年度より改正税率に依り販賣税を納付し自家用貰耕作者は本年度より耕作税八十錢を十一月中に納付せざるべからず（三）ここと爲せり故に賣頭造者又は賣販賣者は改正税令施行の際現に持越葉貰に消費税を課せざるも製造貰には消費税の增率額を課する保税地域又は藏置場以外に於て所有又は所持する製造貰の消費税の增差額を九月中に納付するの用意を必要とすべし（完）

露國市場の將來と諸問題（三）

米露貿易の現在及び將來（三）

米露兩國の統計を比較して最も興味ある現象は棉花を除きたる他の各種對露輸出額に就きて見ることを得べし即ち一九〇一年乃至一九〇五年の期間に於て平均對露輸出額は米國統計に依れば八百七十萬弗露國統計に由るときは七百三十萬弗にして更に一九〇五年乃至一九一〇年の期間を見る時は前者は千三百十萬弗後者は九百三十萬弗にして米國の統計の額は常に露國の夫の上位に在るの奇現象を呈せり其の由つて來る所を尋ぬるに露國に於ける關税評價は貨物の米國輸出港に於ける價格に加ふるに運賃保險料及び荷造料を以てするのみならず往々西歐諸國仲介者の手數料にも及ぶ事あるを以て假へば一九一〇年に於ける對露輸出棉の米國に於ては一封度平均は十四仙七なるにも拘らず露國の貿易統計に據ることは一封度平均十五仙八に相當する結果を來せるなり斯の如き狀勢の下は於ても尚米國統計額が露國の夫の下位に在るが如きことあらんか、即ち然ることきは米露間に於て直通の航路を缺如せるの結果米露貿易の大部分が西歐諸國の仲介に由の已なき所以を以て之が理由となす事を得べし露國貿易は露國の統計に由れば『米さる、よりは海に大なり、其の理露國大藏大臣の說明に由れば出こして第一に米露間に於ける直接貿易の尚幼稚なることを擧ぐる貿易の此點に及ぼす影響を指示するここを得べく、第二に英獨に由つて直に至る迄盛んに行はれたる轉賣を說明して餘す所なし、即ち米國は露國に對して統計の示す所以上に重要なる關係に立ちつゝあり、此の二國は貿易上甚だ不利なる條件を蒙れるにも拘らず、經濟上如何にしても分離する能はざる頗る緊密なる關係を有せり、露米貿易の實額に就て正確なる統計を得ること能はずと雖も少くとも兩者の間に於て貨物の需給關係の甚だ旺盛なるの事實に至りては何人と雖も之を否定することを得ざるべし茲に於てか斯くの如き需給關係を最も有効に利用して莫大なる收益を獲得しつゝありたるは此れ即ち英國及び獨逸に外ならず今や米露の間に直接貿易の新生面を開くべき時機は來りぬ兩者の經濟上の接近は双方に取りては欺く可からざる天賚たらずんばあらず。

梅雨ばれ　古賀純雄筆

並行線（二十五）

瀧閑村

『どうも飛んだ暇ッさへをしてしまつたが、修善寺へ行かう、どうするナ』

久吾は娘の酌んでくれた茶を飲み乍ら娘に訊く。おのぶは宮太郎へ菓子を併めて

『さうですね、あんな怖い眼に逢つたものだから私はモウ修善寺はどうでも好くなつてしまいましたけれど……』こまだ三分の未練がある。

『お前が行きたくなけりや、俺は以前からそんなに行きたくも無いのだから、ヤつこ靜岡へ歸らう。』

四邊を見廻して、

『三島の方へ行く汽車は何時に出るかナ』こ忙しい。

おのぶは神谷の顏を窺ふやうにして

『でも、神谷さんのお怪我は溫泉へ入らつしやる方が早くお癒りになりはしないでせうか知ら』こ誰はさも無く云ふ。

『それもあるが……』久吾はそんな事はごうでも宜いと云つたやうに、

『神谷さんはごうしなさるの』

『私は君の手が斯うだこ非常に不便ですから、靜岡へ歸らうと思ひます』

『そんなお世話位はごうにでもいたしますけれども……』こおのぶは父を見上て

『ねエお父樣』

久吾は何よりも失費を恐れる

『いや、こんな災難に出會した處へ、強て行かんでもの事だ、歸る事にしやう』こ時計を見て

『何處で食ふも同じだから、汽車の時間の都合さへ宜けりや、此處で晩食を食つて立つ事にしやう』こおのぶ

『ぢやアさうしませう』こおのぶも仕方無く同意する。

女中を呼んで、發車時刻を訊いて、それに間に合ふやうに晩食を誂へた。宮太郎は箸を持てぬ、匙を借りて口へ運ぶ。

『御不便ですね』こおのぶは、我事のやうに痛々しがる。

『いや此位の事で濟めば輕い方ですよ、私より先に飛降りた青年はごうしたか、もつこ甚い怪我をしはしなかつたかこ思ひます』

兎角して食事を終つて、少し休んでゐるこ、停車場でガランガラン鈴が鳴る。女中に促されて勘定をする。久吾は三人分の晩飯代を支拂つて立つた。宮太郎は翁こ茶代を置く。

切符を買ふのにも、荷物を運ぶのにも、甚しく不便だつた。おのぶこ女中こに世話をして貰つて、乘込んだ、三島で本線へ乘換へる頃にはモウ日がすつかり落ちたが、暮らしい餘映が西の空を美しく染てゐた。

靜岡へ著いたのは九時近かつた車中でおのぶが甲斐々々しく世話をするのを稍五月蠅く感じた宮太郎は停車場で人の渦卷きを脫けた時ホッと息をした。三人は別れる時が來た。

『色々御世話になりました』矢部しまず』

『いや、大事になさい。御暇だつたらちこ遊びにお出なさい』

『お大事に』こおのぶも禮をする

車は停車場前から兩方に別れた

[illegible]日本醫師會長北里[illegible]の悪評を遂げしめたる結果最近に至り北里博士も漸く從來の行掛を[illegible]之に[illegible]各[illegible]改派も容易に[illegible]

▲簡單の藥品の混合販[illegible]いに見なべきものおるを以て[illegible]律案こして發布せん事を希望し[illegible]師間並に政府は法律に依らずして[illegible]

[illegible]より大連俱樂部に例會を開き[illegible]大嶺老師の碧巖集第三十七則盤山[illegible]

開店披露

農産物海産物貿易商及委托販賣

奉天昭德大街西二條十七號地

德喜洋行

株式會社平安攻玉園出張所

内地朝鮮産白米果物類

極て御便利に取扱ひ一般顧客の御滿足を得る樣相勉め候間多少に拘らず御注文の程伏而願上候

阿部吉田兩氏送別會

阿部京城日報前社長吉田元朝郵專務兩君の爲め左記により送別會相催度候間御賛同の上奮て御來會相成度此段廣告候也

大正七年七月三日

一日時 七月四日午後正六時半
一會場 花月樓
一會費 金六圓 當日御持參
一申込 受附花月樓帳場

發起人（イロハ順）
萩谷籌夫 西村道彦 遠山熙 子爵趙重應 荻田悅造 金谷充 韓相龍 高野省三 宇佐美勝夫 久保要藏 山口太兵衛 松永武吉 前田昇 牧山耕藏 馬詰次男 松崎時勉 木本倉二 三島太郎 持地六三郎 鈴木穆

徵兵保險株式會社

契約高金五千參拾萬四千五百圓 件數貳萬六千九百五拾六件 諸積立金壹千壹百七拾餘萬圓

總裁 男爵 小澤武雄
專務取締役 太田清藏
取締役陸軍少將 伊豆凡夫
顧問陸軍大將男爵 鮫島重雄
同 陸軍中將 西島助義

本社ハ從來鮮滿兩地ヲ四國出張所ノ管區ニ附屬セシメアリシモ爾來被保險者非常ニ多數トナリ茲ニ鮮滿ヲ獨立管區トスルノ必要ヲ認メ今回京城出張所ヲ新設シ大ニ契約者ノ便宜ヲ謀リ諸般敏速ニ處理可致候
追テ京城龍山兩代理店ハ此際廢シ一切ノ事務ハ京城出張所ニテ取扱可致候

有給社員數名採用（任地鮮滿支那各地）希望者ハ京城出張所ニ申込マレタシ

東京市京橋區新肴町十九番地 徵兵保險株式會社
朝鮮京城府本町四丁目百二十一番地 京城出張所長 吉岡薰英
鮮滿外交主任 參事 坂口祐一

行員見習募集

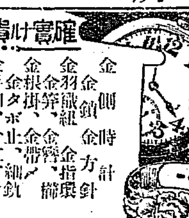
中學程度の學校卒業者及小學校卒業者各二名宛採用但し市內に確實なる紹介人及保證人を要す

株式會社百三十銀行京城支店

確實ヶ貴金屬

金側 金時計 金鎖 金方針 金羽織紐 金指環 金笄、金簪、金根掛、金帶メ 金タボ、金止、細釵 金手釧、金立ピン ダイヤモンド寶石類

京城本町二丁目 平井時計舖 電話二二〇一番 振替京城二武六一



購買 龍山陸軍倉庫 詳細ハ七月四日以降朝鮮官報ニアリ

見本進呈 大工の徒弟は勿論苟も建築業に從事する者は[illegible]

建築講義

壹年卒業 新學期會員募集 大日本工業學會 東京小石川[illegible]

第壹回決算報告

貸借對照表（自大正六年[illegible]至大正七年四月）

資産之部 未拂込株金 山林 土地 建物 坑道 機械及建設費 什器 商品 貯藏品 他店勘定 銀行勘定 [illegible]

負債之部 資本金 [illegible]

東京日本橋新右衛門町[illegible] 生氣嶺粘土石炭會社

夏洋服（上下二枚）

折襟詰襟同價 郵料一着（内地二十四錢 外五十錢）

ヘイヤクロス（鼠霜降）
斜子本リンネル（白及ビ薄茶）
シユランク（白及ビ薄茶）
白パナマ地
ラミー麻（白及ビ薄茶）
白絹リンネル

金拾七圓五拾錢也 金拾六圓五拾錢也 金拾六圓八拾錢也 金拾五圓八拾錢也 金拾參圓五拾錢也 金拾貳圓五拾錢也 金拾貳圓五拾錢也 金九圓貳拾錢也 金七圓八拾錢也 金七圓參拾錢也 金六圓五拾錢也

▲地方は御申越次第見本帖と寸法取圖解送付可申候

京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

書類盜難廣告

當店營業上及其他重要書類（手提金庫入りの儘）六月卅日夜盜難に掛り申候に就ては甚だ乍勝手自今弊店に關する事項及契約並に證書等に就ては一應御照會の上御決定願上度乍略儀紙上を以て廣告仕候

パイン萬年筆販賣元 京城本町二丁目（電話五二七番）

書籍と樂器 ウツボヤ書店 印刷と文具 小島庄次郎

一枚革深ゴム靴 編上靴 [illegible]

廣告

一、銅鑛 精々高價に買入可申候

一、製錬費 諸物價賃金等騰貴の結果爾今金銀銅鑛石製錬費を鑛石百貫目に就き金五圓に値上致候間不惡御諒承相願度候

一、鉛鑛 當分の間鉛鑛買入を中止致候

右廣告候也

大正七年七月一日

安東縣沙河鎭 大倉鑛業株式會社安東製錬所

朝鮮法制研究會 縮刷 朝鮮法規提要

▲ポケット形一千餘頁 ▲總クロース函入美本 ▲定價二圓二十錢送料 ▲特價一圓八十錢八錢

（內容）憲法、法例 官制 賞恤、恩給 文書、附印鑑 地方行政 社寺、宗敎 兵事 敎育 衞生、警察 財務 土地、林野、河川 法務 產業 交通、電氣 [illegible]

賣捌所 京城太平通 京城日報社代理部 電話長六〇九番 振替京城三〇〇[illegible]

浦鹽歸客談
兩軍の砲戰猛烈を極む（三日朝刊のつゞき）

斯くて二十九日午前六時武裝せるチエック兵は過激派軍司令部に侵入して是を占領し其時該兵の捨たる

▲煙草の吸殼　偶然其の傍らにありたるダイナマイトに移り轟然爆發し過激派は周章狼狽停車場前の本部に逃げ込みたればチエック軍は更に本部を占領せんとせるに過激派本部の赤衛軍は室内に山砲を据ゑてチエック軍を砲撃せるよりチエック軍も機關銃を隣接英國領事館の屋上に据ゑ同時に

▲街上に野砲　機關銃を据ゑ猛烈に砲撃し交戰午後二時より同五時に亘り猛烈を極めたり（浦鹽特電）

浦鹽擾亂と邦人

浦鹽に於いて今回チエック軍對過激派軍との衝突の際在留邦人は一名の負傷者を負へるのみにて他は安全也（浦鹽特電）

ケレンスキー氏言明

ケレンスキー氏は聯合國の露國に對する共同援助の意味に於ける出兵を歡迎するも一國のみの干渉を欲せずと言明せり（倫敦特電）

支那鐵道借欵調印

濟南順德間の鐵道借欵は一日支那交通部と日本資本家との間に調印を了せり（北京特電）

倪嗣冲重態

倪嗣冲は數日前より重態に陷れり（北京特電）

植民地出張所新築豫算

拓殖局にては曩に開會せる植民地長官會議の決議に基き同局並に朝鮮總督府、樺太廳の東京出張所を宮城外に新築するに決し明年度五十萬圓の豫算を計上するに決せしが大部分は各植民地にて負擔し國庫の支出は約十萬圓なる可し（東京特電）

國賓御招待宴

コンノート殿下御招待宴は二日夜京都市主催にて八阪俱樂部に開かれたるが殿下は黑紋附袴と云ふ日本服にて御出席あり日本料理を召され祇園美人の舞踊を御覽あらせられたり（京都特電）

琵琶湖へお成

コンノート殿下には三日大津に成らせられ晴れ渡る琵琶湖上竹生島に遊ばれ夕景京都に御歸還あらせられたり四日には大阪砲兵工廠と藤田男爵邸に成らせらるべしと（京都特電）

伊太利派遣將校内命

伊太利派遣飛行將校は岡大尉以下三十名に決定し十日内命を傳へられたるが此他砲兵工廠より七十名の職工選抜同行す可し（東京特電）

京都の文展

上野拾次郎氏は保釋を取消さる（京都特電）

大根種輸出

二日長崎より神戸に向へる鹿島丸は紐育市向けとして大根種三萬二千貫積込みたりこの運賃約六萬圓にして大根種を普通貨物として米國へ大輸出を爲せしは長崎にて未曾有なり（長崎電報）

航空學講座新設公布

東京帝國大學航空研究所官制及び同講座創設の件は三日附公布せられたり所長には横田理學博士任命せらるゝ筈なり（東京電報）

名古屋米穀解合困難

名古屋米穀取引所七月限解合は困難の模樣なり（名古屋電報）

殖銀株と大阪

朝鮮殖産銀行株は來る十六日より十八日迄に公募す可く大阪にては三萬四千三十株を鮮銀大阪支店に於て取扱ふ由（大阪特電）

米國の陸軍
十倍の大擴張

米國

▲陸軍の兵力　米國陸軍兵力は參戰當時現在二十一萬千人なりしも本年六月一日現在百一萬八千人となれり即ち約十倍の擴張を示し本年末迄には更に之を三百萬に增加す可しと昨年六月五日兵役登錄を終りたる壯丁（二十一歲乃至三十歲）は約九百六十萬人にして各種の免除者を除き約其の三分の一を徵集すると假定するも三百二十萬は得らる可く今日に於て此内約百萬を徵集せるのみなるを以て（現在兵力二百有餘萬中約百萬は平時兵及び志願兵なり）尙ほ約二百二十萬の餘裕あり

▲能力發揮期　五月三十一日發電に據れば米國下院は大統領に軍隊無制限徵募權を附與するの案を通過せりと云ひ又一九一八年級の壯丁（昨年六月五日以後二十一歲に達したるもの）にして六月十五日徵兵登錄を終りたるもの約七十四萬五千人に達す尙ほ年次に屬するものにして六月十五日以前に自ら進んで登錄したるもの約二十萬人あり又最近兵役年限延長の計畫ありと報ぜらる以上の如き情勢なるを以て米國は兵力資源に就き毫も憂ふる處なきも唯だ新募の兵員は訓練至らず急遽之を戰場に用ゐる能はず其の佛國に輸送せらるゝ者は同地に於て少くも二箇月の戰場訓練を爲すと云ふ從つて米國軍の大集團的機能を發揮し得るは早くも本年秋以後なるべしと觀察せらる

▲武器と裝具　米國の最も窮乏を感ずるは武器及び裝具とす但し米國の爲め最も幸ひなりしは參戰前二年有半に亘り聯合國の爲め大規模の軍需品製作に從事せしことなり若し之れなかりせば今日以上多大の困難を感ぜしは想像に難からず

▲小銃　昨年末に各聯合國は訓練用として約半數の小銃を有せしに過ぎざりしが現時は其の成品約百四十萬挺に達し廣く需要に應じ得るに至れり

▲機關銃　本年七月迄は所要數を製作し得ず從つて未だ兵隊に於ける定數を滿しあらず然れども本年七月に至れば一箇月一萬八千挺を製作し得べしと

▲火砲　最も困難を感ぜしは火砲の製作とす目下出征軍隊は總て佛國より火砲及び彈藥の供給を受けつゝありて尙ほ當分所期の製作力を發揮し能はざるの狀態に在り但し現に官設大兵器工廠設立中にして既に其の一部は竣工せしを以て漸次其の製作力を增加するに至るべし

▲航空機　昨年七月六億四千萬弗を以て飛行機二萬二千臺を製作するに決し米發動機の制式を一定しリバーチー發動機を採用せしが其の機能尙々不充分なりし結果之が製作に一頓挫を來したるものゝ如く三月頃迄は未だ佛國戰場に一臺の米國製戰鬪用飛行機を見ざりき而して差當り必要なる戰鬪用飛行機は專ら之を佛國に於て製作することに決せるものゝ如く現時佛國に在るもの戰鬪用及び練習用を合し數千機を算するに至れり尙ほ米國内に於ても盛に製作中にして四月十日上院陸軍委員の說明に依れば目下同國陸軍の有するものは左の如しと

初等練習用　三、四五八
高等練習用　三四二

電線建設令
遞信當局談

朝鮮電信線電話線建設令は三日官報制令第十六號にて公布されしがその内容に付遞信當局は曰く電信線電話線の建設令は内地に公布されあるも朝鮮には未だその制定なかりき又此の制定なきも電信電話線の建設に問題を生ぜざりき然るに最近某地方の土地に電線を架設し電柱を樹てんとせし際何等その土地の支障とならず又將來家屋敷地となるものに非ず損害も蒙らざるに拘らず該地主にして電線の建設を拒みたる實例あり將來も亦その絕無を保し難きに付今回その發令を見たる次第なり然し乍ら當局は成可本令の適用を避け地主の承諾を得て架設の目的を遂し行く方針なり唯時に沒分曉漢の出づるあれば止むを得ず本令にて事を處斷せざるを得ず本令の主點は地主は邸宅内並に所有土地内に當局が電線を架設する場合之れを拒み得ざる事となり居れり

羊種の配附

洗浦牧羊場にて飼育せる蒙古羊は良好の成績を擧げつゝあるが總督府にては本年より更に京畿道、忠淸南道の各道に配付之れが普及を爲す計畫なりと

水産輸送注意

滿鐵京城管理局にては七月一日より總督府の水産品檢查規則實施せられたるに付輸移出運滯の水産品は右檢查規則により合格したるものに限り受託する事となれり但し內地行運滯扱ひのものにして檢查所所在地以外の驛より發送するものは移出許可なきため現品發驛へ返送の節は積戻し賃金その他の費用を悉く荷送人にて負擔すと云ふ條件を附し受託する由

鮮銀幹部異動

朝鮮銀行にては七月一日附にて本店釜山安東縣其の他二三店長並に幹部の更迭を行ふ事となり既に夫々辭令を交附したるが四日發表すべしと

大阪より

△勸農兩銀合併　日本勸業銀行と全國農工銀行とは土地建物等の不動産金融に對して同一の性質を有せるより兩者の合併を提唱するものあり前年名古屋に於て開かれたる農銀大會に於ても之が可否に就て連日討議せられたるが一方庶民銀行設立の計畫もあり該計畫によれば全國農工銀行の利益を積立て之を資本金として開設せんとの事なるも之れが是非は暫く措き中產階級及び農業家を相手とする金融機關の必要なるは誰しも認むる所にして庶民銀行設立を見ざる迄も勸業銀行農工銀行等をして今少しく民間需要家に接觸せしめたる上産業をなすの必要あるは勿論にして殊に其性質を同じうする銀行が一は直接政府の補助を受け他は各府縣特有の保護を受け恰も兩者間に一種の階級を設くるが如きは面白からざる現象なれば此の際兩者を併合して資本を增大し現在各府縣の農工銀行をして支店制度の如きものたらしむは方法に於て得策たるやも知れず該案は政府筋に於ても調査中なれば來る可き第四十一議會に於て具體案の提出さる可き筈なりと

△据置特種現狀　不動產貯金銀行が据置定期貯金に成功以來此の種銀行の簇生するありて一時は非常なる盛況を呈せしが其後銀行經營者中には無資産者ありて往々にして預金を費消するのみか甚だしきに至りては或る資金を得んが爲に殊更に特種銀行を經營するものあり之等の不正銀行は正筋の監督なり一般の信用上頗る警戒されて遂には破産の運命に陷り多數の預金者に迷惑を及ぼしたるもの尠からず而して其大部分は東京に本店を置き全國到る所に支店出張所を設け零細の資金を吸收せるを常とし其の内には某銀行は約二百七十萬圓を共同銀行は二百四十萬圓、某銀行六十萬圓等を最多額とし其他十萬二十萬の預金を吸收したる上閉店整理したるものに第七十銀行、某貯蓄銀行、帝國銀行、大國銀行五十銀行京濟貯蓄銀行五十八銀行等あり之等は本店所在地を東京市内に設置すると稱するも露路内にあるもの他人の二階借りして僅に看板を掲げ居る等のものありて頗る曖昧のものなるが此の他に此の種銀行中には隨分と如何はしきものありて現に某々銀行の如きは總督廳に於ても既に注意を怠らざる位なれば預金者に於ても本店所在地の判明せざるものに對しては可成十二分の警戒を加ふる要ある可しとるにても當局の監督宜しきを得て曖昧銀行の漸く跡を絕たんとするは財界の爲に慶す可き事柄なり（大阪支局）

京畿鹽販賣狀況
漣川と富川郡

京畿道管内各郡に亙る春鹽販賣共同販賣第二回目は客月三十日漣川富川の兩郡に於て施行したるが漣川は販賣石數四百五十石にして當日道よりは松永道長官今村事務官出張せり又富川郡に在りては販賣石數三十五石を算し頗る盛況を呈せりと今兩郡に於ける石當り販賣價格を示せば左の如し

◇漣川郡の分

	又背	交配自
特等	一三〇、〇〇	九八、八〇
一等	一〇一、〇〇	九四、八〇
二等	九七、一〇	八五、三〇
三等	九四、七〇	七九、〇〇
四等	八〇、一三	六五、五〇
等外	六八、一〇	四六、五〇
五蘭	四六、二〇	

◇富川郡の分（又背）

特等	一〇八、五〇	一等	九九、五〇
二等	九四、五〇	三等	八七、七〇
四等	七七、〇〇	等外	六七、六〇
五蘭	四四、六〇		

陞叙

六月二十九日附左の通り叙位叙勳ありたり

叙從四位　京城地方法院檢事正　鄕津友彌
同　慶尙南道長官　佐々木藤太郎
叙從四位　總督府遞信事務官補　大谷晋
同　向井田善五郎
叙勳五等授瑞寶章　總督府參事官　大塚常三郎
同　同　判事　藤木永吉
叙勳六等授瑞寶章　土地調査局書記　福田俊淑
同　同　安藤峰藏
同　同　木村昌作
叙勳七等授瑞寶章　遞信技師　總督府局　澤村荒次郎
叙勳八等授瑞寶章　公立普通學校訓導　曾田粹治郎

地金賣買價協定

從來朝鮮産出の地金地銀就中地金の外國へ密輸出を防ぎ且つ之れが取引方法を一致せしめる爲め京城鮮人側金銀商等の相互競爭的買賣の弊を矯正すると同時に外國への密輸出を計畫する奸商の手段に乘入らざる目的を以て京城金銀商組合長白宗鉉氏は同組合幹部一同と市内有數なる金銀商申泰和、金觀泳、李秦昇、李種大、金熙本、朴泓信等十數氏を二日午後六時仁寺洞明月館支店へ召集し左の通り協議の上五日より實行することに決定せりと

▲地金買入れ標準價格は地金十匁を五十圓に買入れ分析したる上同業者間には卸値段五十三圓に同業者以外の者には小賣値段五十四圓に販賣する事

▲同業者なりとも十匁以上は卸値段に十匁以下は小賣値段に依る事

▲同業者以外の人より一回に地金十匁の注文を受けたる時は必ず組合に通知し承認を經たる後賣渡する事

▲右決議は來る五日より實行する若し此の決議に違反したる者には違約罰金五十圓を徵收する事

判任見習講習會

總督府に於ては今回判任官見習講習會を開催し普通文官試驗及び判任官見習試驗に合格し現に判任官見習たるの資格を有する者の內より比較的成績優良なる者を選抜して教育し將來行政上の中堅となるべき者を養成する目的なるが會期は七月十一日より十二月に至る約五箇月間にて講習員は各道に三人宛割當つべく總計三十九名なりと而して永樂町法政研究會々場を以て之が會場に充つる筈にて七月一日附左の通り講師の任命を見たり

▲總督府參事官萩原彥三▲同事務官吉橋▲同矢島松造▲同澤田豐丈▲同時永浦三▲同弓削幸太郎▲同小田省吾▲同今朝次▲同水口隆三▲同杉本良一▲同野坂久郎▲同岡田中郎▲同谷多喜磨▲同今野清▲同渡邊修吉▲同野口次郎三▲同試補河野恒吉▲同岩原文一▲同通譯官新▲同貞▲同矢鍋永三郎▲同務官板東義雄▲同務▲同觀齋沼武勇▲京城高等普通學校教諭李完應▲總督府屬大山弘三▲同上野弘二▲同伊關重俊▲同技手西田恒吉▲同土地調査局書記中塊

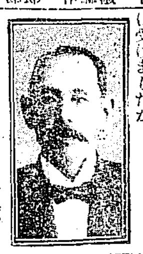
大正七年判任官見習講習會講師を命ず

內地八郡守（二）

（續）米内金作氏

氏は岐阜縣の產明治四十年秋田稅務監督局事務官より日賀田財政顧問として韓國政府に招聘せられて來鮮し今日に及べり、訪問せる記者に語つて曰く

イヤ突然で、私も只今道から電報を受取つた許りです、釜山は明治四十三年十月一日府制の布かるゝと共に參りました、今回私も任命は受けましたが



▲隨分　新職務の責任は重いだらうと覺悟して居ます、何分第一回の任命なので其の成績を東京期待以上に擧げ得るか否かは疑問ですが何れにしても今回の成績は今後の日本人郡守の

▲能力　の標準と見らるゝと思ひますから懸命の努力をしなければなりませぬので懸命の努力を要すると共に責任の重大な事を一入感ずる次第です、社會の期待以上の成績を得る事は

▲不可能としても十數年間の經驗に依り少くとも社會の期待に背かざる成績は擧げ得たいものだと思つて居ます（釜山）

白井第八師團長

旅順要塞司令官白井陸軍中將は第八師團長に補せられたり而して山根第十八師團長の親補は誤りなり

●笠原氏容態　背部腫物切開のため總督府醫院に入院中の笠原三井大佐は數日中に退院其後臨院して約一週間にして全癒の見込なりと

人の消息

▲荻岡光衛氏（京城商業會議所書記長）三日夜入京朝鮮ホテルへ
▲小川得長氏（金浦朝鮮纖維工業所長）同上山本旅館へ
▲河井欣治氏（釜山河井合名會社長）同上
▲西原源一郎氏（慶南道三菱製紙技師）同上奧村旅館へ
▲小杉哲二郎氏（朝鮮無煙炭會社庶務課長）同上不知火へ
▲堀池富作氏（大邱辯護士）同上
▲西川新藏氏（東拓沙里院出張所長）三日夜退京
▲植田三七氏（東拓平壤出張所長）同上
▲永田伴造氏（同元山出張所長）同上
▲安井宛三氏（同江景出張所長）同上
▲堀內（同木浦出張所長）同上
▲岡野久胤氏（東京高千穗商業學校長）同上
▲西脇健太郎氏（黃海道事務官）同上
▲鈴木俊定氏（支部長官）四日午前八時三十分發急行にて內地へ

百萬百種

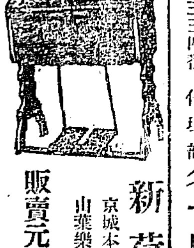
土耳其に於けるアルメニア人の大虐殺は依然續行されて死屍は累々と處々に横はり又餓死する者も夥しく實に酸鼻を極めて居る▲之れを救濟せんと思ひ立つたのが米國の赤十字社で直ちに資金を一般に募集すると僅く間に集まつた金が七百萬弗▲而は不足とあつて二百萬弗を加へて九百萬弗とし社員の一隊は過日我國を經て印度、土耳其、波斯方面へ出發した▲此の事業に對しウオルソン大統領とプリンストン大學在學中の學友ダッヂと云ふ富豪が率合して▲直接救濟費以外の社員派遣費や其他の雜費は一切負擔すると申出た▲だから此の九百萬弗は全部救濟費に充當さる、譯である▲此ダッヂ君は常にウオルソン大統領の慈善的事業を協助して居るが今後も此救濟事業を各方面に擴張する計畫である相な▲日本の成金や富豪とはチト段が違ふ▲赤十字と云へば滑稽な事は近時日本の赤十字社も看板丈は頗る立派だが能くなつて來たので▲米國赤十字社から種々の共同事業を申込んで來る相だが▲未だ其内容が伴はないので當局者は甚だ恐縮して居ると云ふ事▲閑應義塾の錄田學長が三田新聞紙の爲に揮毫して曰く『昨唱亞父道泥土今稱阿佛道未入都』と誰も讀みも無ければ解釋する人もない▲思案に餘りて聞いて見ると塾長は澄ましたもので『あれかね、あれは英語だよ、昨はアップ、ツー、デートを唱へ今はアップ、ツー、ミニットを稱すと讀むのだ』▲ナール程と聞くもの呆然

送無佛先生東歸和韻　埒雲　此經
垢顏難合素無疑　須記煙霞夢裏時
雲白山青君去處　吾心如鳥又空馳

廣告

鳳山遊園は山水の眺望と地の利を得たる爲め開園式擧行以來々遊者日に數千人家族大會當日の如きは優に六萬人を超ゆる盛況を呈し開業勿々諸事不行屆なる乘臨時雇入れたる仲居共不都合にも五錢の茶を二十錢に三十八錢のビールを六十錢に五十錢の辨當を七八十錢に其他不當の代價を申受けたる者有りし爲め園主の信用を害ない同時に各位の信用を失ひ今日に立至り申候處這回今後斷じて斯る不都合な事の無之樣に誓ひ茲に再び從前の如く本日より數百の電燈を山上に點し洋食一品十五錢のビヤホールを設け漢江橋の下に遊船及び地引網を備へ付け納涼の便に供し候間倍舊御來遊の程偏に奉希上候

七月三日
鷺梁津（漢江橋畔）
鳳山遊園主　荒井德一
川海鮮魚御料理　望月



新荷著（目錄贈呈）
京城本町二丁目二十九番地　山葉樂器朝鮮代理店
販賣元　釘本樂器部　電話二八三番

當所店前裝飾は京城最初の試み是非御來觀を乞ふ
餘興（李王家雅樂隊、鼓妓手踊、其他いろ〳〵）
運輸日報拾週年記念　螢狩大會　七月六日土曜　午後四時より
會場　東大門外清涼里（電車終點より二町）當日何處からでも電車往復無賃
當所に金壹圓以上買物された方に螢狩待券を呈す
本町二丁目　運輸日報代理部　電話一三三四番
名古屋物產販賣所

眼鏡專門

△弊堂特色（詳細定價表發行す）
レンズ精撰　技術精巧　品位確實　價格低廉　親切勉强
京城南大門通一丁目三三番地
宮川大學堂
電話二九五九番　振替京城壹壹貳九番
（眼鏡製造工場子弟入用）

電鈴と乾電池　ヒオキ商會　京城朝鮮銀行前

朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生　普成商業學校講師　西村眞太郎著
鮮日會話精通
袖珍總クロース頒美本◎七百餘頁◎定價一圓三十錢
諺文の素讀を學修し得たる人士は速かに本書を購求せられむ事を勸む
凡そ自己の知らむと欲する朝鮮語は如何なる言語と雖も悉く本書を繙きて知る事を得べし
眞に本書は萬般の會話例を網羅せる一大辭典たり。語數の豐富、譯方の正確、說明の親切。會話の實際的なるは本書の特色なり速かに一書を購求して愛讀あらむ事を祈る
發行　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部
取次　京城本町二丁目　大阪屋號　京城本町二丁目　巖松堂

最新流行　新荷到著

ムギワラ帽子　金五十五錢より金四圓迄
パナマ帽子　金一圓廿錢より金五圓廿錢迄
送料（鮮內十二錢　外三十錢）
▲鳥打帽子　其他最新形
◎御注文の際は柄向（縞とか無地など）色合御嗜好及價格頭囲り寸法御申越下度候はゞ適當の品見計ひ御送付可申上候
京城大平通　京城日報代理部　電話六〇〇九番・振替京城三〇〇番

植物油
胡麻油　荏子油　大豆油　蓖麻子油　同白絞　糠油　菜種油　東柏油　同白絞　ボイル油　並に油粕
謹啓各位益々御清穆の段奉賀上候扨て弊所左の製品は卸値小賣共特別廉價を以て販賣可仕候間多少に不拘御用命の程偏に奉願上候
京城南米倉町　京城製油所　電話長一六三〇番　一九一七番　五九五番

花菖蒲壹萬本
サッポロビール愛飲家に無代進呈
龍山彩花園の花菖蒲は昨今滿開にて紫白とり〴〵の色美はしく咲き初めました、今回同園主の希望に基づき同花菖蒲切り株壹萬本を限りサッポロビール愛飲家に汎く無代御分配申上ます御望の御方は最寄サッポロビール販賣店に御申込下さい早速御屆け申上ます

サッポロビール元造製　大日本麥酒株式會社　京城出張所

內科　胃腸病　診察夜九時迄
京城本町一丁目　石川醫院　電話一二七三　一二九

銘酒

金　銀　菊正宗　釜　釜　楠正宗
特約店　三巴京城支店

セミヨノフ軍觀戰記（五）

少年兵が『氣を付け』―熱心に日本軍を崇拜してる一等大尉―遙に敵の砲兵陣地が見ゆる―支那兵の同志喧嘩

マツエフスカヤセ軍司令部にて　金谷特派員

青い帽子を冠つたコザック少年騎兵が居る、黑鞘の反りかへつた軍刀を肩の革紐に勇ましく吊つてヒラリと馬に跨るかと思ふとすぐにスタスタと駈け出した、馬にかけてはとてもコザックと蒙古人の敵でないと斷念して、自分はまた徒歩で東方の丘セ軍の

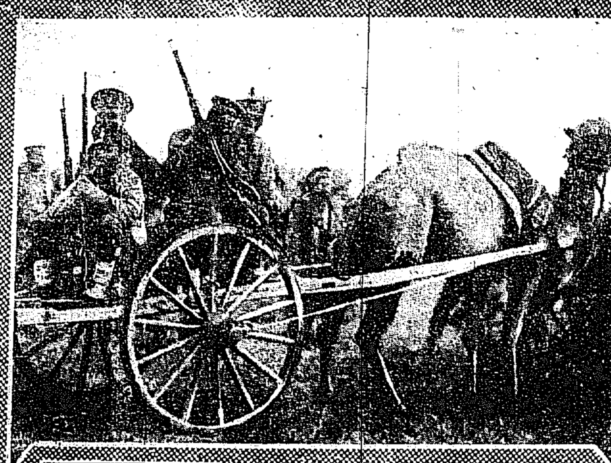
▽砲兵陣地に　志して、何時眼で眺めた青野原であるが實際に歩いて見ると近い處が却々以て近くない、セ軍の蒙古馬が放牧してあるところから猶ほも

◇久邇宮珖子女王御葬儀

久邇宮珖子女王殿下の御葬儀は三日泉山にて行はせらる葬列は京の町な過ぐるや市民は肅として御道筋に整列し御宮を喪はせられたる宮家の御不幸を悲しめり（京都電報）

グングン進んで行く間、自分はこある山陰に一臺の馬車と二人の人影を認めた、近づいて見ると軍服は著けて居るが

◇まだ十六七歳　の少年兵である二人は一生懸命に電話線を伴に卷きつけて居た、自分の日本人なるを知るや否や二人は『氣を着け』の姿勢で擧手の禮を試みた上『ズドラーユヤ、ゼラーユ!!』（これは主として軍人の用ゆる今日はの意）と握手を求めた、と見れば一人は



◇セ軍の陣營―蒙古の駱駝と支那及び露國の義勇兵―

▽革帶の金具　に『商神』の杖を現はしてゐる、何處の商業學校生かと訊くと喧嘩と答へた、他の一人は中學生であつた二人は統領セミヨノフを慕うて祖國を救ふ爲めの義軍に投じたのだと語つた、健氣なる少年よ、君等の上に幸あれと自分は再び握手して別れた、と同時に

◇少年義勇兵を　昨日列車で見た跛のも思ひ出した二時間も經つた頃自分は高山植物の咲き亂れた山に重砲兵の陣地を見出した、此處は停車場から見ゆるかかりの山であつたが歩いて見れば相當な距離であつた、天幕の裡から双眼鏡を有つた

▽一等大尉が　出て來て擧手の禮を試みつ、大きな右手を差のべた、部下の連中も『日本人だく!!』だと喜びながら敬禮した、導かれるまゝに絶頂に立てば渺に波濤のやうな青山の彼方、駱駝の瘤の如き丘が見ゆる

◇敵の砲兵陣地

『あれがソクトイ方面のある處だ』と慓悍らしい面の大尉は指した、『何時も擊ちますか』と訊くと『モウそろそろやる時分でせう』と軍人らしい口調で答へた、五六米突先方にはまた味方の山砲が据つてゐる、山上から停車場の司令部を振り返つて見るとそれはまた、豆入寸馬の間に

◇白い燐寸箱　のやうな寢臺列車がブツブツと一騎打ちに出かけるところであつた、大尉も亦熱心な日本軍崇拜者であつたごうか新聞を通じてわれわれセミヨノフ軍の眞情を傳へてくれと堅い握手を取交した、山を下つて自分は再び支那兵の

◇散兵壕を訪れ　た中にはホンの申譯ばかりに土を盛つて腹轉んでゐる奴がある、彼らに石を積んでゐる男がある、石があると却つて危いぞと注意してやると『左様々々』と早速取り除けにかゝるのも面白い、隊長には露國士官が附いてゐる、聞けば此の連中は味方の蒙古義勇兵と先日同志喧嘩をおつ始めた、互にお手のもの、

▽實彈で射擊　しあうた豪傑である、見てゐる人は危なくてならず遂にセミヨノフ大尉の幕僚が仲裁に行つたまゝ流彈に斃れた……こいふとであつた、ごうしてごうして此の連中は却々度胸の据はつた先生ばかりであつた此の日の夜のとである、まだ薄ら明りの

◇蒙古から千頭　午後十時頃、自分はあまりの馬が來たといふので停車場の裏に見物に行つた、馬がのその青草を喰つてゐるのを眺めてゐると、突如ドドドドウドウ!!と遠雷が鳴つた確かに敵の砲聲である、幕僚の一人は首を傾けながら『變だな、斥候の奴何を報告しよるか解つたもんぢやない』と云ひながら『あの砲兵陣地の前に

▽增援隊を出　さぬと敵からこられるぞ』と言つた、約いて西の方から小銃の音がパンパン!!『敵の奴、あの山からうるさくやつて來るので困る……』と

◇指された山は陥くべしセ軍が唯一の退路、滿洲里方面の鐵道線路に沿うた丘であつた『今夜はうるさいぞ!!』見れば味方の砲兵陣地には

◇火を焚いてゐる　『好い目標だ、あの連中の大膽さには困るな……』と幕僚は笑つた、汽車の宿營に歸つた時『若し釜焚きに茶日が居つて夜中に此の汽車を走らせるされわれは全部捕虜ですな』と云ふと近所の人は大笑ひした（六月廿二日記）

東京大相撲＝三日目＝

◇中入前に大入滿員の盛況

東京大相撲三日目なる三日は午後より大候定まりたるため入場者非常に多く中入前に於いて既に大入滿員の盛況を呈したるが當日は大潮後援會の盛んなる聲援ありその他各銀行會社連中の觀覽多數にして盛況を極めたり當日の勝負並に四日目の取組は左の如し

勝	負	勝	負
藤の谷	高の矢	峯の越	千田川
妙光山	黑潮	青葉山	沖の石
房州山	泉	甲州	土崎
九紋龍	松ケ島	一の島	石ケ濱
眞砂岩	大淀	能代潟	小田ノ山
伊達錦	千葉ノ香	淺の山	玉の川

▲中入後

若葉山（突き出し）福知山
鶴の海（踏み越し）小牛田山
白岩（突き出し）大岬
琴ケ浦（寄み切り）藤の川
錦島（突き倒し）大戸平
大潮（小手投げ）千葉ケ崎
鳳（小手投げ）三杉磯
▲本社番外お好み
琴ケ浦（寄り切り）三杉磯
▲同決勝五人拔
能代潟

右の內▲福知山に若葉山は立ち上るや無雜作に突き出して福知山の勝▲小牛田山に鶴の海は双方共元氣同志なり双方筈にて立ち上るや小牛田素早く飛び込み左を差して寄り進み鶴が正面溜りに堪ふるところを前褌を引いて押倒したるところこの時已に小牛田に踏越しあり

て軍扇は鶴に揚がる▲白岩に大岬は本社勝負豫想相撲なり入念に仕切つて立ち上るや白進二無二突張り進むを大岬突き返し突き合ふ内白猛烈に突き進み突き出して白岩の勝は岬おはなを奪はれたるの觀ありき▲琴ケ浦に藤の川は好取組なり立ち上りに可なり手間取り漸くにして立ち上るや琴先づ突張りを連發して攻め立て藤が悍て氣味に立ち直らんとする處踏みきつて琴の勝は藤に取つては惜しき相撲▲大戸平に錦島は化粧立數回の後立ち上るや大戸の左差しに行くを錦受けて左四つとなるや互ひに小手投げを打ち合ひつゝ寄り合ひ錦が下手投げを打つて寄るを大戸よく殘して寄り返し互ひに呼吸を圖つて大相撲となりしが這度は大戸が寄立つるを錦土俵際に危ふく殘して廻り込むや小手を振つて寄り進み大戸が腰を落して錦の勝は力の入つた大相撲▲大潮に千葉ケ崎は當日屈指の好取組なり兩力士の聲援盛んにして喝采湧くが如く入念に仕切つて立ち上るや千葉が右差し

決勝五人拔能代潟

に大潮突込んで一氣に寄らんとするを大潮同じく右差しとなり千葉が寄り立つるところを土俵際に小手投げ美事に極まつて打つたる小手投げ美事に極まつて大潮の勝は千葉ウマク註文に嵌まつた觀ありたり▲鳳に三杉磯は立ち上るや三杉飛び込んで右を差し正面溜りへ寄りたる時は鳳危ふかりしが殘して廻り込み小手投げを打てば極まつて鳳の勝にて午後六時半打ち出したり

▲四日目取組

能代潟	鶴ノ海	眞砂岩	小牛田山	藤ノ川	大戸平	錦島	鳳
小田ノ山	大ノ達	玉ノ川	白岩	琴ケ浦	大潮		
若葉山	淺の山	大岬	伊達錦	千葉ケ崎	三杉磯		

相撲雜觀

小達磨の愛嬌…茶目るから負けるんだわ…問題になつたふじ香の表情

能代潟五人を拔く

午後二時頃から取組を始めた大相撲は取組の進むに隨つて客は熱狂し聲援の聲は頗る盛んであつた▲素人相撲　飛入京城の素人相撲の面々飛入ケ達新玉小達磨錦祥の面々飛入り序二段目邊と取組んだが小達磨は新券の常居で名譽自稱の小兵料理屋側の盛んな聲援があつたが手もなく轉け出されたは愛嬌

▲本社番外好み　は琴ケ浦に三杉磯双方共に人氣力士の事とて滿場割れ返る許りの喝采の裡に琴寄り切つて勝ち同じく決勝五番拔きは能代潟小牛田山白岩一の島大淀錦の海の五人を拔きたるは力が入つたり

▲又復雨騷ぎ　幕下の土俵入り前後になるや怪しげな天候は愈々雨になつたるにぞ場內騷ぎ立ち處に雨具を取り出すやら傘を翳すやら一時は客も浮腰となつたがや、暫くして雨も止み中入後となるや例に依つて客も熱狂し聲援の聲は二日目に優つて盛んであつた

▲千代次彌次る　文の家の千代次は相撲狂で棧敷で客み角力を投げ倒した程の剛の者とて見物中も只では納まらず金切聲を振絞つて南棧敷を騷したが錦島大戸平の取組となるや『大戸平!!大戸平!!茶目さん勝つて!!』と四邊を憚からず大戸平が突倒さるゝや『憎い!!除り茶目るから負けるんだわ』と睨むだ眼元は可愛かつた

▲滿場總立ち　大潮に千葉は當日の好取組とて双方共に力士連も今日の一番は相手が剛敵千葉だけれど油斷し難しと此處を先途と血眼になつての後援に小牛田も加はつて許りの有樣であつたが此時正面棧敷に居つたふじ香の表情が花柳界や其道の消息通の間に大いに問題となり化粧立する毎に交つてふじ香潮々!!と呼ぶ聲に交つて!!ふじ香!!々!!と言ふ聲が聞えた大潮が霧石の千葉をして一氣もつかせる迄もなく見事に小手投を打つや拍手喝采鳴りも止まず鳳に三杉磯は鳳が小手投で勝つて六時半打出し

▲記念銀盃　大潮後援會では大潮に對し記念銀盃一個を贈つた

汽車辨當値上

朝鮮線各驛に於ける汽車辨當は從來並等二十錢上等三十錢なりしが近來一般物價騰貴の結果幾分値上の已むなきに至りたるを以て並等は廿五錢上等三十五錢に値上することとなり七月十日より實施すべしと

相川氏無罪

全南光州日報社長相川保三氏は嘗て光州新聞に於ける記事に付詐欺取財の罪名にて大邱覆審法院に於て懲役一年の判決を受けしが不服として高等法院に上告し同院は審理の結果第二審の判決を破棄し之を京城覆審法院に移し衞來公判中の所三日京城覆審法院判長の判決にて無罪の判決となれり

◉總督府給仕募集　總督府にては年齡十四五歲迄常小學校卒業以上の學力を有し京城市中に確實なる身元保證人あるもの二十名を採用する由志望者は自筆の履歷書携帶總督府受付に出頭すべしと

◇高松宮殿下

御手づから寢具の上げ下し

平壤中學　佐々教諭謹話

平壤中學校より體操研究の爲め東京に派遣され居たる佐々教諭は此程歸來したるが氏は目下學習院に御在學中の第三皇子高松宮殿下の御近狀につき謹話せるが其の一節に曰く

或る日戸山學校教官と共に學習院を參觀しての歸途運動場を通つて居ると七八人の學習院生徒の散步するを見受けました其の一人は二三間前に他の六七人は其後に隨いて居ります私は何氣なく其方に向つて進んで居た教官の

◇某大尉　は急に立留まつて擧手しながら細さな聲で『デンカ、デンカー……』と言ふのであります私は何を言ふのか一寸氣が付きませんでした、然し私も立留つて擧手しながら學習院生徒の居る方に目を注ぎますと機械體操場の所に一人の學生が起立して擧手の禮をなして居りました、他の七八人の學生は二三間後の方に同じく擧手の禮をなして居るのであります、そして私は殿下を初めて

◇宮殿下　であつたことに氣付きました、直立不動の姿勢を取つて擧手注目敬意を表して居りますと何時までも手を御下しになりませぬ。教官は『佐々君早く手を下さぬか君が下さないと殿下は何時までも手を御下しにならぬ』と

◇注意　なされましたので又氣が付いて下しますと殿下も初めて御手を御下しになりました、殿下には私が少尉の軍服を著して戸山學校の教官と一緒でありましたし戸山學校の教官は學習院に體操を教へに參りますので殿下には教官に對する禮を遊されたのであつたさうであります、殿下の御方は非常に嚴重に行はせられてあります殿下は七名の御學友と共に學習院の

◇寄宿舍　に起居を共にして居られますが其だ御食事を宮內省から御運びになる外は他の學生と少しも御變りはないとのことであります殊に畏多いことには寢具の上下まで殿下御親ら遊されるといふことを拜聞しました殿下には

◇體育に　殊に重きを置かせられて毎日一時間宛は必ず體操を遊ばされますが教官は嚴格に御教授申上げるとのことでありました

法人登記公告

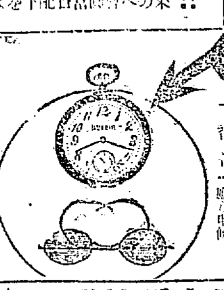
楊口地方金融組合
地番設定ニ依リ住所ヲ左ノ通變更シタリ
主タル事務所　江原道楊口郡楊口面上里參百貳拾六番地
[illegible]
大正七年六月貳拾八日登記
京城地方法院楊口出張所

久原鑛業株!!
[illegible]
公債株式現物賣買
新田耕市商店
京城櫻井町一丁目　電話長一七〇番 一八八一番

京日案內
▲店員至急入用 [illegible]
▲十五六歲小僧入用 [illegible]
山本メリヤス [illegible]

質　京城明治町二丁目
大塚質店
電話一八四九

友助堂
京城南大門通一
電話二九七七番
振替一八九五番



最新刊
パインビジネスペン

家園藝十二ヶ月

◉高御下宿　西大門町二丁目　電話一六二五番　優翠旅館
男女事務員募集　京城南大門通　中村運送店
店員入用
新聞配達人募集す　京城大漢門前　合名會社盛文堂
ほねつぎ　柔術道場
開自動車開通
京城食糧品市場
店員至急入用
◎左官用布海苔
債券賣出し
測量製圖

百円進呈
りん病　ばい毒
帝國醫科大學病院
▲にせ物　[illegible]　分析料百圓
有田鑑製
ドラッグ商會本部
京城本町　大阪屋號

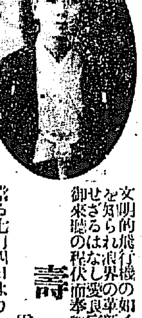
痔疾專門
京城
久枝肛門病院
入院隨意　京城明治町二丁目本町より入る中程（電話二一〇二番）

大日本優等清酒
ハクツル
品質純良
衞生無害

攝津灘御影町
嘉納合名會社
醸造元
京城本町二丁目
發賣元　前田酒店
電話一三七番

診察時間
初診の御方は可成午前中
自午前九時　至午後六時
京城長谷川町二丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院
電話八一二番

青年浪界の横綱
吉田奈良丸養子
小奈良丸



文明的飛行機の如く旭日の如く世に知られ浪界の革新兒と世の人を驚かせざるはなし愛好家諸賢是非一夕御來聽の程伏而奉懇願候
壽座　電話五七八番
當る七月四日より
◎初日に限り各等半額
初日語物
▲赤垣德利の由來
▲吾妻の義俠
二席　小奈良丸

中元聯合大賣出
七月五日ヨリ同十日マデ
京龍吳服商組合

妻の心 二十七

五の七 小林蹴月作 武内桂舟畫

『まあ、禮さん、お前は默つてお在で』と、喜久子は、睨へ付けるやうに禮子の顏を睨んで、

『久三郎さんの心には、毛頭此の町川家の思ふの念もなければ、お前と云ふものを愛すると云ふ意志もない事が、今夜と云ふ今夜、確かに判明りましたから、それで妾は、お前を突措くやうではあるが思ひきつて此の問題を持出したんです。』

『いゝえ阿母さま、貴女は假ひ然う被仰つても、旦那樣に限つて、決してそんな薄情な思召はお有りなさらないんです。畢竟双方の話のいきさつから、只今のやうな事を被仰つたり被仰られたりするやうな場合に立ち至つたので御座います。そりや貴郎こそや……すもんで御座います。』

身も裂かる・やうな板挾みの苦痛を怺へて、良人の方へ拜むやうに顏を振向けたが、

『もし、旦那樣、貴郎も多少御酒機嫌でお在遊ばすやうで御座いますから、つひお話も荒くお成り遊ばしたんで御座いませうが、情類あの……妾の此の身體の半襟りますまで……何事も御辛抱遊ばして、そしてあの……無理なお願かも存じませんが、阿母さまの心に安心が出來まするやう、お氣をお付け遊ばして頂きたう……』

と、云ふのさへ、餘程……餘程息苦しさうな氣色が見られた。

腹中には縱し、鬼が横はらうと蛇が蟠まらうと、此の哀れなる心細き禮子の有様には、奈何な久三郎も、同情一掬の涙を灑がざるを得ないのである。彼は、飽まで嫌ひな喜久子には、車を横に押し通さうと思つて居たのであるが、禮子が今の誠意から出た歎願に依つて、幾干かは我慢の角を折つた。

『……だから、乃公の方から事を好むのぢやないと云つてるんだ。それにだ、阿母さまが、恁麼に此の家の最上の權威者であつた所で、お前の意向も聞き糺さん內に、突然僕に向つて離別的の宣言を與へらるゝと云ふのは、道理に於て許さんこッちやないか。町川家に取つて、小糠三合の婿養子かも知れんが、是でも一歩門外へ踏み出れば、天下の町川久三郎だからね。』

『ほ、ほ、ほ、久さん、お前の中ですが、その天下の町川久三郎には、貴郎何うしてお成りだ』

出せば好い事に、負け嫌ひの老母喜久子は、盤を叩かぬばかり中に横槍を投げ込む。禮子は、はらはらと傷ながら、母の袂を抑へて

『あれまあ、阿母さま、それを被仰る事丈はお止め下さい。旦那樣には旦那樣の御器量とお働きがあればこそ、今日の地位にお成り遊ばしたんで御座いますわ』

禮子は、何處までも良人への義理を立つて、自分の縮まりなき誠實を現はすと同時に、能ふべくんば、良人の耽溺的放埒を喰ひ止めたいと思へばこそ、母の立腹を承知しながら、故意と斯う云ふのである。

『默つて被在いと云ふのに……』

と、喜久子は、投げ付くるやうに禮子を叱り飛ばした。そして、小皺の多い行き詰まつた額に、ぴかり時ならぬ電を打たせて、

『云ひたくはありませんが、肝心のお前が第一そんな手ぬるい了見でお在ればこそ、久さんの此の態度は何です。今讀み上げた新聞の記事がお前の耳へは入らなかつたんですか。妾は、意地からでも、久さんに町川の家名から分離して貰はねば承知出來ません。お芳とか云ふ女優上りの妾を圍つて置いて、それでも足りずに柳橋の若龍とやら云ふハイカラ藝妓を落籍するなんて……一體全體……金錢上の事は暫く關はないとしても、妾から云はせれば、お前と云ふ者を此の儘焦死なせやうと云ふ久さんの心持ちとほか思へないぢやありませんか。さッ、久さん、貴郎も天下の町川久三郎だと威張る位なんですから、立派に天下の久三郎らしく處決して下さいね。』

禮子のかねがね心配しぬいて居た白兵戰は、到頭斯の仕末にまで及んで了つた。

『處決しますとも。立派に處決してお目に掛けます。』と、久三郎は手强く云ひ放つて、思ひ出たやうに禮子が枕邊の呼鈴を鳴らした。

梅雨と書畫

懸替は霽間に

梅雨季節には書畫の類も汚點が出たり黴が生えたりして困る床の軸物は懸けた儘置くのは差支ないが雨の降る時節に懸替へて先のを箱に仕舞ふと濕氣を含んで居る爲め

▽自然 汚點が出たり黴が生えたりする梅雨期でも降る日ばかりではないから晴れの日を待つて懸替へれば差支ない併し客が來るので是非懸替の必要が起つた時は蒼朮を焚いて

▽其煙 が室から消ゆる頃取外せば濕氣が去るから其上に箱に納めるならば宜しい又既に汚點の附いた書畫なら梅雨期に洗つて表装するに限る梅雨期には衣類を洗濯しても

▽良く 脂や汚點が脱ちると云はれて居る軸でも額でも同じ理由で汚點や黴が誂へ向に浮いて居るから此時洗へば綺麗になるのに不思議はない商品が腐くのを厭つて書畫を箱に入れる人が有るが之は大變な間違ひである

日報俳壇

題 夏じ君を送るとて
白き薔薇に蜜蜂が羽鳴らし居る　てい一
別離を惜す淋しさに薔薇なり　同
明日別る淋しさに薔薇鳴りたり　すみ子
薔薇匂ふ夕陽の庭は明るし　同
薔薇の花瓣に露ひかる夜明けたり　美代子
君の頰に似て赤き薔薇咲きけり　同
薔薇生けて祖道の譫張られけり　いと女
オーガン傭ひ日頃や薔薇匂ふ　同
急須淹るゝ茶の濃き色や薔薇滿る　みつる
電燈消せば机上の薔薇に月さしけり　同
姊の手を借りて卷糸仕舞ひけり　葭じ

題 話が濟みて別るゝ時
汽車を見送る百姓に茨淋しや　鴨原
茨淋しき雨の土手一人行くなり　同
燃ゆる火の肉にしごとや茨の花　友萍
夕風に花茨の散る水は暗し　同
花茨の堤を戻る茶毘所の人等　醉酒木
馬洗ふ土手の花茨月となりぬ　同
花茨の月夜を流る鳴らであり　芳雀
花茨に羽顫せり囀れる小鳥　同

◆夏の句を募る 句數等制限なし直接京城府明治町松田芳雨宛送付ありたし

□涼夜吟(其の六)
夏帽子肩上ぐれば迫る額色や　夏帽子　田打夫
夏帽子 船室に暗く這りけり　櫻貴子
薔薇
白薔薇の色灯に沈む机上かな　田打子
薔薇に旭あり濡る・露葉を草履ひ　同
花薔薇に馬車待つ畑や敗者高く　櫻貴子
花嫁婆や乳濃く卓にこぼれたる　同

□草月砂
▽　青瓦
寢しな夜氣に鉢花出すや夏銀河
朝霧松石除けて水の流れ見る
夏雲拳穗明り間ゆほどの風
川中に牛貰掃く風の行々子
▽　瓜青
黒青川銀河見る初む夜となりぬ
牧牛の春に老鶯の桐影かな
老鶯や蛇眠子着けて杜を出づ
黒ン種麥の粉散らす風や夏鶯

新刊紹介 (到著順)

▲徳富健次郎(池田林儀著) 現代の文壇の巨星たる徳富蘆花氏を品隲せるもの微に入り細を穿ちたる點は著者の勞を多とすべきもの盛あり若し夫れ此の間に偏狹に失せるの嫌あり著者の云へる如く『徳富蘆花氏は見様によつて如何様にも批評し得る人である』といふ點より推せば此書の著者は普人たる蘆花氏の短所を餘りに過大視したる嫌ひなきに非ざるか、著者の例證に引ける日蓮聖人云はずや、『然るに餓鬼は之を火と觀じ、人は水と見、天人は甘露と見る』の例なり是れ評者の著者と見解を異にする所以なるが蘆花氏の識見品性學殖を讃美せるは評者も亦た此の書の著者に賛同するものなり殊に蘆花氏のトルストイ、芭蕉その他に於ける見解に共鳴せる著者の論は大に傾聽に値すべく卷末の詩抄は蓋し一讀の價値あらん(一圓二十錢、東京本郷駒込西片町四八大日本雄辯會發行、京城大阪屋號販賣)

▲汎獨政策(外務省臨時調查部譯) 佛國シュラダム博士の原著を翻譯したるものなり著者は汎獨運動の眞相を研究して其の假面を剝がんとするため米國に十四回、英領印度に二十一回、朝鮮に十一回、其他亞洲各國は勿論、東洋殊に日本支那に十一回、朝鮮に往復して汎獨運動の直接及び間接組成の要素を研究して本書を著作せしものにて此の書は全世界到る處の國語に飜譯せられたるものなり(二圓六十錢、東京麹町下二番町外交時報社)

▲禪學要義(加藤咄堂著) 禪とは何か、是に入りて是を學ばんとする途を說明したる書なり由來禪は不立文字たり、即ち禪は文字を以て傳へざるものなるも古來文字によりて提唱せらるゝ事多し此の書は古書を基本として禪の教理、形式、練心、道德等を傳へたるものなるを以て學者之によりて禪の意識を解し禪の眞相を知り進んで禪に入らんとするは必ずしも不可能に非ざるべきか(二圓、東京小石川原町丙午出版社、京城大阪屋號發賣)

▲帝國農會報(八の六) 系統農會機關 十二錢、東京赤坂溜池町一帝國農會

▲勝友(九の六) 五錢 城本町三の五十淨土宗寺舍本部

▲短詩世界(六月號) 二十錢東京神田南神保町七光文館

▲育兒通信(五の六) 父母の友 二十錢東京小石川林町五七共社

▲嗜好(二の六) 六錢東京々橋銀座二の六明治屋嗜好支店

▲開墾(六月號) 十五錢大阪南區難波河原町一の一五二同發行所

▲國民評論(二の一九) 十五錢東京丸の内有樂町一の三共社

▲婦人週報(四の二四) 五錢東京牛込市ヶ谷川町二の一七共社

▲農商務大臣ニ與フル書(非賣品) 外米管理に依る米價調節に關し多木粂次郎氏が農相に建白せし者にして之を印刷して知人に頒布せしものなり

▲ジャパンタイムス學生號(二二) 十三錢東京芝區內幸町一の四同出版所

▲まつだ新報(五の六) 非賣品 神奈川縣川崎町東京電氣株式會社發行

讀者の領分

▲愛讀者諸君に答ふ 第二回の『上げ』は昨日掲載致しましたが、續けて二、三日間ポンチ繪が出ますからそのポンチ繪の中に假れて何かの字が隱しております。それを拾ひ出して綴り合せると何かの名前になります。それ以上は作者の顏で考へて頂きます(係り)

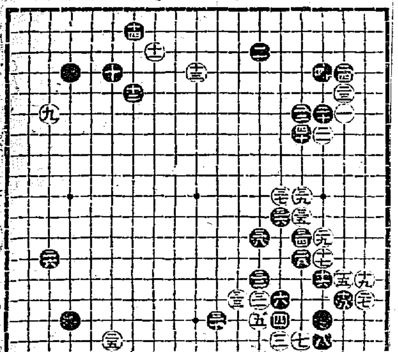
▲私は二三日前『燕の子』を[illegible]て飼料を何にしてどんなにして育てたらよいか分りません[illegible]

[illegible]

碁戰 (二)

(大正七年六月二十二日 京城日報主催 於國技會)

四段 喜多文子
四子 鮎貝房之進



二一 に七
二二 ほ六
二三 は五
二四 は四
二五 か七
二六 れ十三
二七 ろ十五
二八 ほ十三
二九 に十三
三〇 り十五
三一 さ十五
三二 と十四
三三 ち十五
三四 ほ十三
三五 ほ十一
三六 へ十一
三七 へ十
三八 と十三
三九 ほ十
四〇 ほ七

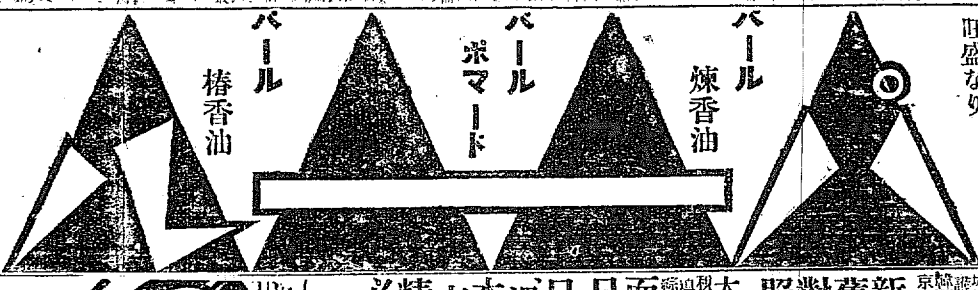
大阪株式

(三日前場)

郵船 二〇九、一〇
堂島 二三八、四〇
大東 新株 一五〇、八〇

◎醫藥二分業問題

▲分業の主張に賛同し乘て、虛心淡懷本問題の解決に盡[illegible]
醫藥界に於ける多年の問題たる醫[illegible]てこれが貫徹を期すべく後援するに[illegible]ることゝなり目下其形式に賛[illegible]
段は全然之を藥劑師に一任すること同時に危險の虞ある藥品の混合販[illegible]
醫師會及藥劑師會の規約に明記せば足れりとなし未だ何れとも決定[illegible]
三界無法の提唱ありたり(大連)
●貨物主任視察 [illegible]貨物主任[illegible]
る橋本組主橋本喬徳氏は飯二浦三[illegible]
半よりは北野敎の盛大なる題下に井口牧師の長講演ありて盛況なり

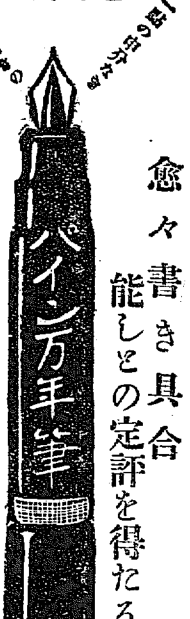


毛髮の營養に富み日本に冠たる……世界的パール煉香油として內外の需要頗る旺盛なり

化粧化學を應用し絕對的黑色養毛に適し實に遺憾なき……現代理想の 椿香油なり

代理店 大阪 平尾レート
本舖 東京 平尾パール

"PINE"



愈々書き具合能しとの定評を得たる

萬年筆の眞價はパインを除き他に知るべからず

特許既願防破装置附
緑田式萬年筆 金六圓八十錢
インキ止式婦人用 金三圓八十錢
インキ止式短軸 金四圓九十錢
パイン式實用向 金三圓八十錢
パイン學生號 金二圓八十錢
ビジネスペン(事務用) 金一圓九十五錢

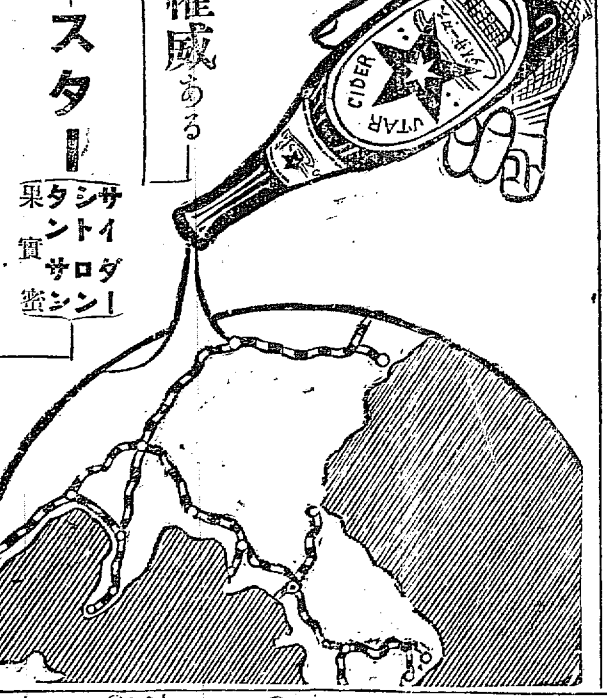
不具合又自然破損は交換快諾又は無料修繕

新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

司法大臣 松室致閣下題字
京城地方法院所屬書記法學士 加古貞太郎先生序文
京畿道財務部附屬官 小笠原寬先生序文
法政大學校友 關西大學校友 越智唯七編纂

大正七年一月一日現在 正誤表附總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓郵稅十八錢 本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたる一目瞭然たるものにして道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日鮮清西歷の詳細なる對照年號を示し管區數、人口戶數、道路里數、各道の廣袤交通、産物名稱舊跡溫泉其他の概況を掲げ 本書は官廳執務上を初め政治家、實業家、學者、交通、産業其の他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺くへからさるの必携書なり

發賣元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部



權威ある スター サイダー シトロン タンサン 果實蜜 の甘き香ばしき露は今や鮮滿の野を普く潤せり

製造元 京城岡崎町(電話一四二〇番) 振替京城一九二一番 京城清涼社

◎双眼鏡◎
◎十五形 六枚玉 十二圓
◎十三形 六枚玉 十一圓
送料鮮內十二錢 外三十錢
右僅少に付至急御下命願上候
京城太平通電話構內一八番 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

鐵道局 拂下品販賣
夏 細セル洋服 車務服として最適當品 多數
夏 細小倉洋服 人夫用として最適當品 多數
冬物絨服 同外套
冬小倉服 毛皮胴着
チョキ各種 多數
軍隊拂下品 一式
和洋古中衣服類 一式
新調洋服類
右精々勉強多數御注文に應じ可申候間多少に不拘御用命被下度候
龍山元町二丁目 電話百〇五番
和洋衣服官衙拂下品商 金子商店(奥市) 振替口座京城三八一三

最上醬油 朝鮮仁川港 高杉醬油醸造場

日本郵船仁川出帆
◎大連、天津行 相模丸 七月十九日 三河丸 七月九日 高砂丸 [illegible] 正午出
仁川海岸町一丁目(電話十番) 堀同漕部

阿波共同汽船仁川出帆
大連直行(關東都督府命令航路) 廿一共同丸 七月九日 後入港 一共同丸 七月六日 前出港
朝鮮鐵道主要驛にて荷物引受[illegible]
仁川代理店 野口商會(電話二〇七番) 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆
◎敦賀行 清津城津元山經由 平壤丸 七月十九日 元山發
◎浦汐行 大阪發門司釜山元山城津經由 山陽丸 七月十五日 七月十七日 釜山發 元山發
◎雄基行 関門發釜山各港經由 ×印江原道寄港セズ 七月十四日 七月十七日 七月十九日 七月廿三日 釜山發 元山發
京畿丸 ×雄基丸
◎元山雄基線 元山起點各港經由往復 鏡城丸 七月五日 元山發
◎大阪行 釜山發浦項城津元山釜山門司經由 神戶經由 越後丸 七月五日 七月七日 元山發 釜山發
◎金剛山遊覽便 元山發長箭經由 長箭行 月六回但自六月至十月五ヶ月間 明城丸 七月九日 元山發
◎濟州島行 釜山發浦項及各港經由 咸鏡丸 七月十日 釜山發
◎釜山浦項線 釜山發長生浦方魚津九龍浦經由 江陵丸 毎日 釜山發
◎濟州島行 釜山發長承浦巨文島經由 昌平丸 七月十日 釜山發
◎濟州島行 東廻り 西廻り 各島經由 東廻 慶興丸 七月六日 西廻 公州丸 七月九日 木浦發
◎釜山麗水線 海州丸 巨濟丸 毎日 釜山發 麗水發
◎木浦麗水線 順天丸 七月七日 木浦發 (以下三日目毎ニ木浦發)
◎多島海行 木浦發多島海各島行 公州丸 七月十四日 木浦發
◎木浦行 仁川發各地經由 慶興丸 七月八日 仁川發
◎海州行 仁川發江華島經由 新江丸 毎日一回 仁川發
◎鎭南浦行 仁川發各港經由 南陽丸 濟州丸 七月十日 仁川發
◎南島行 仁川發各港經由 江原丸 七月十二日 仁川發
朝鮮鐵道及社外船ト聯絡[illegible]
本社 京城南大門通 電話 一九五二 二一二三
釜山出張所 元山支店 仁川出張所 木浦出張所
京城南大門驛前 松原運送店
其他各寄港地に於ける取扱店アリ

尼崎汽船仁川出帆
下關、大阪直行 第一大潮丸 月 日後四時出
群山、下關、神戶 第一大有丸 月 日後四時出
仁川海岸通三丁目(電話五九番) 高杉回漕部

大阪商船出帆
神戶、大阪行(仁川出帆) 安東丸 七月廿二日 後五時出
清津行(元山出帆) 平安丸 七月十三日 後十二時
◎釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 宮島丸 七月七日 後九時出
◎上海、基隆、打狗行(大連出帆) 湖北丸 七月十二日 前六時出 基隆丸 七月廿四日 後四時出
內地各港出帆上要航路
歐洲行 南洋行 北米行 南米行 濠洲行 孟買行
大阪商船株式會社仁川支店 電話二〇番 五〇番
京城 內國通運會社 支店 京城本町 仁川港 [illegible]

釜山出帆廣告
◎元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 七月五日 後四時出
◎門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 七月十五日 後四時出
◎佐須奈、巖原、博多行 天見丸 七月四日 午後十時出
釜山港埋立新町木船取扱店 大池回漕部